



# ANNUAL REPORT 2021

アニュアルレポート2021

2020年度 事業報告  
2020.04.01-2021.03.31

2021年度 事業計画  
2021.04.01-2022.03.31

福祉楽団  
FUKUSHI GAKUDAN

# ケアを考え “暮らし”を良くし 福祉を変える

ケアの真価は、「これが本当にその人の最善なのかどうか」を問い続け、考えることです。そうした思考をベースとしながら、ケアを実践し、昨日よりも今日の、今日よりも明日の“暮らし”を良くしていかなければなりません。目の前の人に向き合い、小さな実践でも、一層、一層、積み重ねていくことを大切にします。そして、実践から見えてきたものを発信し、提言し、議論する姿勢をもち、つねに福祉のあり方を問いなおします。

## 当事者への思い

いつまでも自分らしく安心して生活したい。そんな思いに私たちは「ケア」を通して応えていきます。

- 当事者の最善の利益を追求します。
- 持てる力、健康な力を活用し高めるケアを実践します。
- 生活の視点で当事者を見つめ、社会でのつながりを大切にします。

## 社会への思い

私たちは、社会のなかで真価のある存在を目指します。そのため、地域と協働し、自然環境とともに歩む姿勢を忘れません。

- 社会福祉法人として公益的な事業をすすんで行います。
- 情報を公開し、透明性の高い経営を実践します。
- 嘘をつかず正義を希求し勇気をもって行動します。

## 職員への思い

よりよい福祉実践のためには、職員が安心して働ける環境と、成長できる機会が大切です。長期的な視点をもって人材育成に取り組めます。

- 広く社会で活躍できる人材を育成します。
- 職員の能力を活かし、「楽しい」ことを大切にします。
- 多様性を受け容れ、安心して働ける環境を整えます。



民主的な社会に暮らす方法を学びたいのならば、  
オーケストラで演奏するのがよいだろう。  
オーケストラで演奏すれば、自分が先導するときと  
追従するときがわかるようになるからだ。  
他の人たちのために場所を残しながら、  
同時にまた自分自身の場所を主張することは  
いっこうにかまわない。

A.グゼリミアン編『バレンボイム／サイド 音楽と社会』（中野真紀子訳）から

## 社会福祉法人福祉楽団 アニュアルレポート 2021

発行日 2021年7月1日  
発行人 飯田大輔

社会福祉法人福祉楽団  
〒261-7112  
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

TEL 043-307-2828  
FAX 043-307-4848  
E-Mail info@gakudan.org  
HP https://gakudan.org/

## CONTENTS

### 04 2020年度事業報告

- 04 トップメッセージ
- 05 役員体制
- 06 トピックス
- 08 財務情報
- 14 基礎データ
- 17 そのほかの報告事項

### 20 2021年度事業計画

- 21 中期経営計画
- 22 事業方針
- 24 事業計画
- 27 資金収支計算書

### 28 福祉楽団について

- 28 法人概要  
沿革
- 29 組織図
- 30 コーポレートガバナンス
- 31 施設概要

### 32 福祉楽団20年の歩み

### 34 ご寄付のお願い





## コロナ禍で見えた人のつながり

この一年間は、新型コロナウイルス感染症への対応に追われました。情報収集を行いながら対策を講じてまいりました。大学などと連携し、感染症対策の職員研修を毎週のように行い、「READYFOR」の支援を受けて、コロナ禍で広がる貧困の相談にも対応してまいりました。また、ご入居者、ご家族のみなさまには、面会制限や行動制限などの不自由をおかけし、ケア記録へのご家族のアクセスが増えました。感染症対策に不可欠な物資を安定的に供給してくださった取引先のみなさまには感謝しかありません。コロナ禍ではいままでは見えなかった人のつながりが見えるようになり、多くの人に支えられて事業ができていたことをあらためて実感いたしました。いまやっと、ワクチンの接種がすすみつつあり、少し安堵しております。

国からは、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援」として、介護職員に慰労金の支払いがありました。しかし、介護職員の精神的、身体的な負担に対する慰労としては十分とは言えません。生存権を保障する最前線の仕事である介護を、あらためて評価する必要があります。

今日も、福祉を必要としている人に向き合い、最前線で働く人を全力で支えます。私たちはひとりひとりの暮らしを良くする実践を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2021年7月

理事長 飯田 大輔

## 役員体制 BOARD MEMBER



いいた だいすけ  
飯田 大輔 (43)

理事長

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：社会福祉法人愛川舜寿会 監事、社会福祉法人ゆうゆう 理事、株式会社恋する豚研究所 代表取締役、株式会社香取農業耕社 代表取締役、株式会社生活ラボ 取締役  
最終学歴：千葉大学大学院人文社会学研究科公共研究専攻（博士前期課程）



たけうち としかつ  
竹内 利勝 (53)

常務理事／財務担当  
兼 サポートセンター長（統括会計責任者）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：株式会社生活ラボ 代表取締役  
最終学歴：国士館大学工学部建築学科



おおえだ まゆみ  
大枝 真弓 (38)

常務理事／安全・CS担当（内部監査人）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：無  
最終学歴：日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科



あべ あきこ  
安部 明子 (45)

理事／安全・CS担当  
兼 社の家なりた 事業部長

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：無  
最終学歴：東洋大学短期大学観光学科



いしま たろう  
石間 太郎 (40)

理事／安全・CS担当  
兼 社の家やしお 事業部長

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：無  
最終学歴：関西大学大学院工学研究科（修士課程）



いわた なおき  
岩田 直樹 (38)

理事／情報担当  
兼 人事・総務部長、経理部長（会計責任者）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：ケアコラが株式会社 取締役、一般社団法人福祉の現場ICT活用協議会 監事  
最終学歴：東京工科大学工学部電子工学科



ただりな  
多田里奈 (24)

理事（社内公募）  
兼 社の家くりもと 生活相談員

役員報酬：有 職制上の給与：有  
兼職（社外）：無  
最終学歴：北海道教育大学函館校 国際地域学科



ばば たくや  
馬場 拓也 (45)

理事（社外）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：無  
兼職（社外）：社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事、社会福祉法人ゆうゆう 監事、ケアコラが株式会社 取締役、一般社団法人 FUKUSHI FOR CONVIVIALITY 代表理事、一般社団法人日本医療福祉建築協会 理事  
最終学歴：日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究専攻（専門職修士課程）



おおはら ゆうすけ  
大原 裕介 (41)

監事（非常勤）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：無  
兼職（社外）：社会福祉法人ゆうゆう 理事長、社会福祉法人愛川舜寿会 理事、北海道医療大学 客員教授、一般社団法人FACE to FUKUSHI 代表理事  
最終学歴：北海道医療大学大学院看護福祉学研究科臨床福祉専攻（修士課程）



ほしかわ のぞむ  
星川 望 (38)

監事（非常勤）

理事会出席回数：14/14  
役員報酬：有 職制上の給与：無  
兼職（社外）：税理士、慶應義塾大学法学部法律学科非常勤講師、一般社団法人成長企業研究会 理事  
最終学歴：慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻（修士課程）

## トピックス TOPICS

### 1 人事制度の見直しと福利厚生を拡充をしました

社会福祉法人の経営をとりまく環境は大きく変化しており、こうした環境の変化に合わせて人事制度の見直しと拡充を検討してきました。2020年10月に、現場の職員が主体となって「組織・人事制度見直し会議」を設置し、延べ10回の検討会議を開催しました。また、全職員から「より良い職場環境についての調査」を実施しました。そうしたプロセスを経て、年間休日数の増加、腰痛予防支援の充実、面談制度の運用見直しが重要だということが見えてきました。2021年4月からは、所定休日数が年間3日増えることや、ガクダンマイルの運用見直し、キャリアラダーの充実などが順次実施されます。あらたに「カムバック・パスポート」制度も新設されました。退職時にこのパスポートをもらうと、5年間はいつでも復職できるようになります。職員の持てる力を最大限に発揮し、人の成長を支援する経営をすすめてまいります。



### 2 香取市の森林に作業道をつくりました



整備した幅員2.5mの作業道。軽トラックが走行できる。道があることで森林の保全活動や間伐材の搬出がしやすくなる。

「栗源第一薪炭供給所」では、香取市栗源地区の森の間伐や下草刈りなどを行い、間伐した木材は薪に加工しています。2019年秋の台風による倒木が放置されたままになっている森も多く、その状況を少しでも解決したいと考え、2020年4月に「香取市持続可能な森づくり協議会」を設立（福祉楽団は事務局）しました。「持続的な森の管理」と「森を育てる活動」を地域の森林所有者とともに協働で行っています。2020年度は、千葉県「森林経営管理集落支援モデル事業」の認定を受け、北海道や奈良県から技術者を招いてやり方を教わりながら、約2kmの道づくりを行いました。道ができたことで、障害のある人など、さまざまな人が作業に参画でき、気軽に森林に入れるようになりました。森林の維持管理だけでなく、地域の産業や仕事の可能性を広げていきたいと考えています。

### 3 災害復旧と災害対策の強化をすすめました

2019年秋の台風等の災害により、「杜の家くりもと」（香取市）と、「杜の家やしお」（八潮市）の非常用発電機が故障していましたが、2021年3月に復旧工事を完了しました。停電しても一部のエリアの空調や照明が使用できるようになりました。災害備蓄品は法人全体で備蓄数量の見直しを行ったほか、水害対策としてライフジャケット、冬季の災害を想定して石油ストーブなどを追加で備蓄をしています。MCA無線は、主要な事業拠点の中で、「杜の家なりた」（成田市）だけが未設置でしたが2020年7月に整備を完了し、非常時の連絡ができるようになりました。ソフト面については、法人の災害対策計画の見直し、各事業拠点の防災計画についても全面的に見直しを行っています。



大型クレーンを使って非常用発電機を設置する作業。（杜の家くりもと 2020年12月8日撮影）

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策は、正しい知識と、根拠にもとづく対策を基本的な考え方として取り組んできました。政府機関や国際機関、学会等から最新の知見や情報を収集し、現場への取り組みをすすめてきました。

### 使い捨て手袋など物品の確保

感染症対策に必要な物品の入手が困難で綱渡りの状況となる時期がありました。4月ごろから、使い捨てマスクと消毒用アルコールが品薄となり、9月くらいからは使い捨て手袋が品薄となる時期がありました。価格は通常時の3～5倍に値上がりしましたが、日ごろから取引のある企業のみなさまのご協力をいただき、欠品することなく、なんとか事業運営を継続できました。不測の事態に備えて、感染防護ガウン1,000着、N95高性能マスク1,200個、フェイスガード300個、使い捨てマスク5万枚と、手指消毒薬100ℓを追加で備蓄しています。職員の家庭等での感染症対策は、福利厚生の一環として、2020年5月から、酒造メーカーから提供された消毒用アルコールや、使い捨てマスクの頒布を2021年3月まで継続して実施しました。職員に頒布した消毒用アルコールは、延べ1,819ℓとなりました。



感染症対策物品の消費量の変化

	当年度	前年度	前年比
消毒用アルコール(ℓ)	7,061	1,612	438.2%
使い捨てマスク(枚)	162,720	36,265	448.7%
使い捨て手袋(枚)	1,788,900	1,598,250	111.9%



手洗いやアルコール消毒など標準的な予防策を徹底した。

### 繰り返し実施した感染症対策研修

2020年度中に法人内で実施した感染症対策研修は、基本的な手技や知識について延べ70回、外部の専門家を招いての実地での訓練を延べ3回となりました。職種や保有資格にかかわらず、すべての職員が繰り返し受講しています。また、2020年5月に、日本赤十字社と日本環境感染学会の協力を得てWeb研修「新型コロナウイルス感染症に対応する介護職員のためのサポートガイダンス」を実施し、2020年7月には、全国の23の社会福祉法人と連携し、長崎大学病院感染制御教育センターの協力を得て、Web研修「福祉施設でクラスターを発生させないための基本的な知識と技術を確認しよう!」を実施し、Web動画を制作しています。

### 介護現場の取り組み

介護現場の感染管理は緊張感のある対応が続きました。各事業拠点では、2020年3月から「感染管理チーム」を設置し、週1回、施設内をラウンドし、感染管理についてモニタリングと評価を実施してきました。法人全体でも、2020年4月からすべての事業拠点長により、週1回、Webで「COVID-19対策会議」を開催しています。特別養護老人ホームではクラスターを早期に発見するため、発熱者のグラフを作成し変化の「見える化」をすすめたほか、施設での面会については、基準を設けて、社会情勢に応じてレベル分けをして対応してきました。ご家族の面会が制限されるなかで、介護記録システム「ケアコロポ」にご家族が接続し、日常の介護記録を見られるようになる機能を案内したり、介護現場の会議や研修も、いままで以上にオンラインを活用したやりかたに変更しています。



換気のしかたについて検討しているところ。



発熱者数はグラフ化し、毎日、感染管理チームと共有される。

### 相談支援体制の拡充

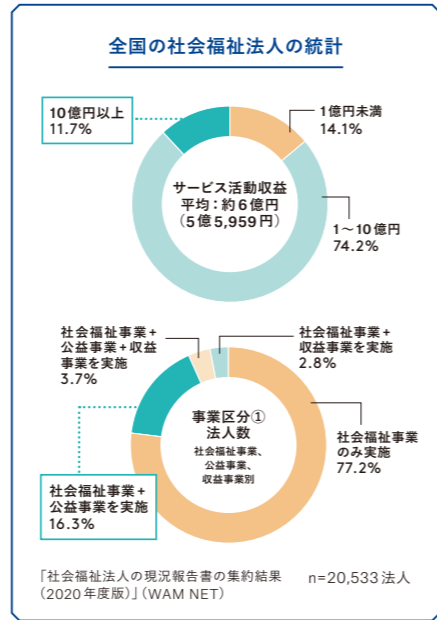
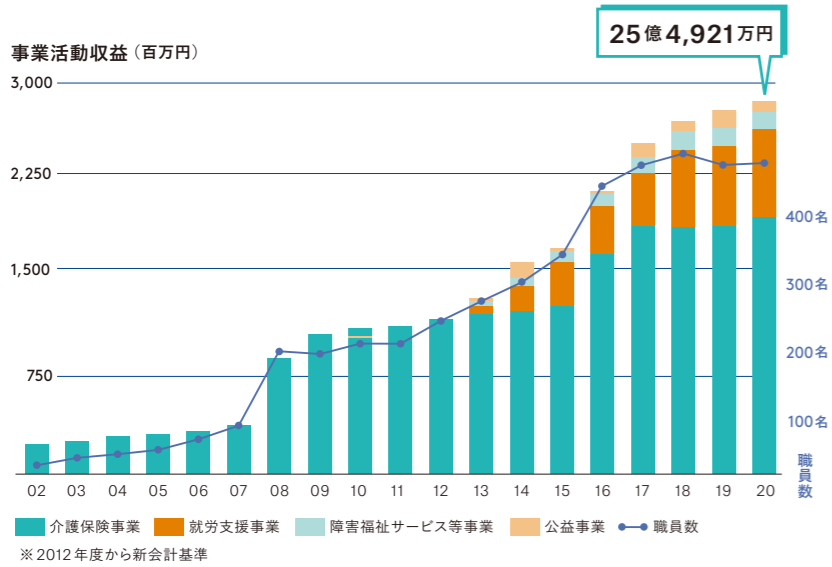
コロナ禍で広がる貧困や生活困窮に対して、相談員を1名増員して対応しました。主な相談内容は「失業」や「収入減少に伴う住居確保」、「DVなどの家族問題」となっております。2020年7月に、クラウドファンディングの実施団体「READYFOR」から200万円の助成を受けて、これらの相談支援を実施いたしました。法人全体で延べ1,216件のコロナ禍関連相談に対応しています。

# 財務情報 FINANCIAL INFORMATION

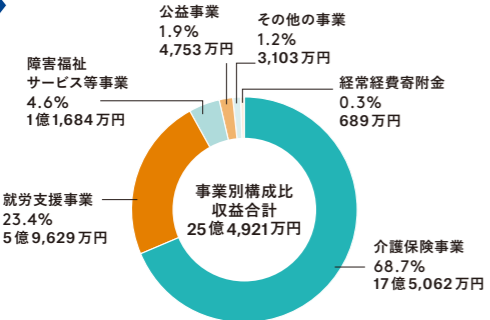
## 財務ハイライト

- ▶ サービス活動収益(売上高)は、前期比2.64%増収の25億4,921万円となりました。
- ▶ 杜の家なりた拠点区分の「ショートステイ」が初めて通期稼働したことにより、ベッド稼働率が4.12%改善し、増収に寄与しました。
- ▶ 栗源拠点区分の就労継続支援A型事業が前期比8.76%増収となり、拠点として初めての黒字となりました。
- ▶ サービス付き高齢者向け住宅等の計画中止に伴い、7,024万円の特別損失を計上しました。

### 事業活動収益と職員数

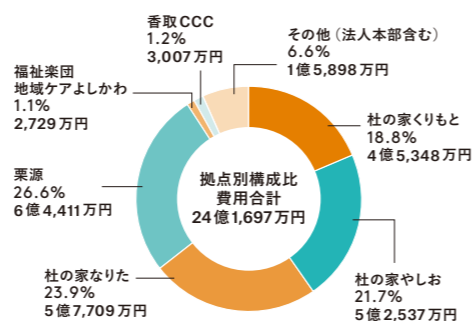
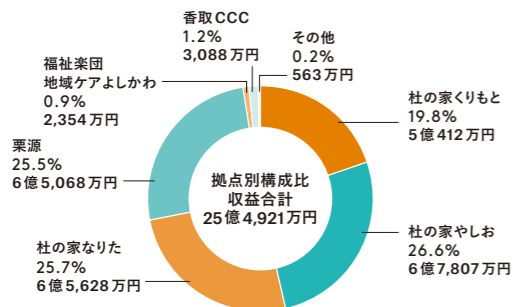
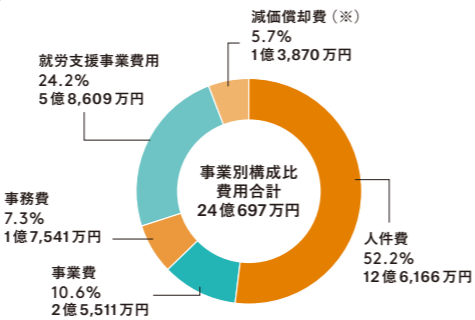


### 収益内訳



同業者平均 (TKC社会福祉法人経営指標 S-BAST)  
介護保険事業:2億7,909万円 就労支援事業:8,586万円  
障害福祉サービス等事業:1億861万円

### 費用内訳



## 資金収支計算書 (キャッシュフロー計算書)

(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	1,750,622,733
	就労支援事業収入	596,292,992
	障害福祉サービス等事業収入	116,843,215
	公益事業収入	47,533,306
	借入金利息補助金収入	199,095
	経常経費寄附金収入	6,887,627
	受取利息配当金収入	11,806
	その他の収入	60,451,863
	事業活動収入計(1)	2,578,842,637
支出	人件費支出	1,261,657,356
	事業費支出	255,106,005
	事務費支出	175,414,467
	就労支援事業支出	563,357,649
	支払利息支出	23,339,769
	その他の支出	6,296,401
	事業活動支出計(2)	2,285,171,647
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	293,670,990	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	37,703,801
	固定資産売却収入	3,240,000
	施設整備等収入計(4)	40,943,801
	支出	
設備資金借入金元金償還支出	186,016,000	
固定資産取得支出	100,489,992	
ファイナンス・リース債務の返済支出	15,917,176	
施設整備等支出計(5)	302,423,168	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	▲261,479,367	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	190,000,000
	長期貸付金回収収入	2,437,274
	積立資産取崩収入	24,118,941
	その他の活動による収入	59,137,724
	その他の活動収入計(7)	275,693,939
	支出	
長期運営資金借入金元金償還支出	49,322,000	
長期貸付金支出	2,362,020	
その他の活動による支出	55,875,529	
その他の活動支出計(8)	107,559,549	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	168,134,390	
予備費支出(10)	—	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	200,326,013	
前期末支払資金残高(12)	295,339,383	
当期末支払資金残高(11) + (12)	495,665,396	

## 事業活動計算書 (損益計算書)

(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	1,750,622,733
	就労支援事業収益	596,292,992
	障害福祉サービス等事業収益	116,843,215
	公益事業収益	47,533,306
	経常経費寄附金収益	6,887,627
	その他の収益	31,033,563
	サービス活動収益計(1)	2,549,213,436
	費用	
	人件費	1,261,657,356
事業費	255,106,005	
事務費	175,414,467	
就労支援事業費用	586,093,918	
減価償却費	193,876,838	
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲55,178,198	
サービス活動費用計(2)	2,416,970,386	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	132,243,050	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	199,095
	受取利息配当金収益	11,806
	その他のサービス活動外収益	29,418,300
	サービス活動外収益計(4)	29,629,201
費用		
支払利息	23,339,769	
その他のサービス活動外費用	6,296,401	
サービス活動外費用計(5)	29,636,170	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	▲6,969	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	132,236,081	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	37,703,801
	その他の特別収益	54,137,724
	特別収益計(8)	91,841,525
	費用	
固定資産売却損・処分損	89,999	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	▲2,547,873	
国庫補助金等特別積立金積立額	37,703,801	
災害損失	27,086,290	
その他の特別損失	80,414,695	
特別費用計(9)	142,746,912	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	▲50,905,387	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	81,330,694	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	602,529,387
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	683,860,081
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	24,118,941
	その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	707,979,022	

## 貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	金額		金額
流動資産	734,499,667	流動負債	469,020,667
現金預金	272,710,772	短期運営資金借入金	30,000,000
事業未収金	392,100,247	事業未払金	151,437,257
未収金	3,200,168	その他の未払金	39,806,800
未収補助金	40,205,188	1年以内返済予定設備資金借入金	186,976,000
貯蔵品	7,847,875	1年以内返済予定長期運営資金借入金	42,537,000
商品・製品	3,538,575	1年以内返済予定リース債務	8,412,256
仕掛品	830,306	預り金	32,745
原材料	3,369,979	職員預り金	9,639,309
立替金	2,872,874	前受金	179,300
前払費用	7,823,683		
固定資産	4,091,723,512	固定負債	2,479,548,334
基本財産	3,526,520,822	設備資金借入金	2,225,229,000
土地	408,546,356	長期運営資金借入金	235,658,000
建物	3,117,974,466	リース債務	17,983,334
その他の固定資産	565,202,690	敷金・保証金等預り金	678,000
土地	11,661,152	負債の部合計	2,948,569,001
建物	312,073,070	<b>純資産の部</b>	
構築物	16,463,911	基本金	79,459,000
機械及び装置	77,140,994	第1号基本金	35,410,000
車輛運搬具	82,135	第3号基本金	44,049,000
器具及び備品	62,683,568	国庫補助金等特別積立金	1,066,216,156
建設仮勘定	0	その他の積立金	24,000,000
有形リース資産	15,481,392	設備整備等積立金	24,000,000
権利	1,947,718	修繕積立金	0
ソフトウェア	1,014,695	次期繰越活動増減差額	707,979,022
無形リース資産	10,914,202	(うち当期活動増減差額)	81,330,694
投資有価証券	2,670,000		
長期貸付金	13,365,261	純資産の部合計	1,877,654,178
設備整備等積立資産	24,000,000		
修繕積立資産	0		
差入保証金	15,673,222		
長期前払費用	11,370		
その他の固定資産	20,000		
資産の部合計	4,826,223,179	負債及び純資産の部合計	4,826,223,179

## 借入先明細表

2021年3月31日現在

(単位：円)

借入先	借入金残高
独立行政法人福祉医療機構	1,833,578,000
京葉銀行	346,387,000
銚子商工信用組合	209,396,000
埼玉りそな銀行	138,917,000
佐原信用金庫	123,617,000
みずほ銀行	64,350,000
千葉銀行	4,155,000
合計	2,720,400,000

## 主要な経営指標

2021年3月31日

経営指標	算式	参考指標	当年度						
			法人全体	社の家くりもと	社の家やしお	社の家なりた	栗源	福祉楽団地域ケアよしかわ	香取CCC
人件費率	=人件費÷サービス活動収益	※6 67.3%	53.02%	62.79%	53.93%	58.16%	20.12%	87.79%	79.40%
経費率	=経費[※1]÷サービス活動収益	※6 23.9%	16.89%	22.32%	17.82%	19.53%	1.83%	24.14%	15.57%
事業費率	=事業費÷サービス活動収益	※7 13.0%	10.01%	15.57%	12.21%	12.68%	0.94%	12.10%	4.76%
事務費率	=事務費÷サービス活動収益	※7 10.2%	6.88%	6.75%	5.62%	6.85%	0.89%	12.04%	10.82%
減価償却費率	= (減価償却費-国庫補助金等特別積立金取崩額) ÷ サービス活動収益 × 100	※6 4.8%	10.79%	10.72%	9.76%	16.63%	5.95%	5.73%	2.39%
経常収益対支払利息率	=支払利息÷経常収益[※2]	※6 0.5%	0.91%	0.22%	1.25%	1.55%	0.50%	—	—
現預金対事業活動支出比率	=現金預金÷(事業活動支出計÷12か月)	4.1 か月	0.80 か月	—	—	—	—	—	—
流動比率	=流動資産÷流動負債	※8 301.3%	156.62%	308.92%	300.19%	134.28%	51.70%	42.37%	37.87%
固定長期適合比率	=固定資産÷(自己資本+固定負債)	※8 72.0%	45.89%	105.68%	80.82%	18.28%	▲9.91%	▲259.58%	▲151.18%
借入金比率	※3	※8 48.2%	107.75%	36.85%	79.97%	239.63%	65.71%	6.49%	1.36%
債務償還年数	※4	※8 4.9年	9.0年	▲0.7年	1.3年	10.6年	19.6年	—	—
EBITDA有利子負債倍率	※5	—	6.0倍	—	—	—	—	—	—
サービス活動増減差額比率(営業利益率)	=サービス活動増減差額÷サービス活動収益	※7 2.8%	5.19%	10.05%	22.52%	12.07%	1.01%	▲15.94%	2.64%
経常増減差額比率(経常利益率)	=経常増減差額÷サービス活動収益	※7 2.7%	5.19%	10.27%	22.16%	11.29%	1.74%	▲16.65%	5.13%
当期活動増減差額比率(最終利益率)	=当期活動増減差額÷サービス活動収益	—	3.19%	0.14%	0.04%	6.66%	2.50%	▲16.65%	5.47%

※1 経費=事業費+事務費

※2 経常収益=サービス活動収益+サービス活動外収益

※3 借入金比率=(短期運営資金借入金+1年以内返済予定設備資金借入金+1年以内返済予定長期運営資金借入金+1年以内返済予定リース債務+設備資金借入金+長期運営資金借入金+リース債務)÷サービス活動収益

※4 債務償還年数=[(短期運営資金借入金+1年以内返済予定設備資金借入金+1年以内返済予定長期運営資金借入金+1年以内返済予定リース債務+設備資金借入金+長期運営資金借入金+リース債務)-(事業未収金+未収金+未収補助金+未収収益+受取手形+棚卸資産等)-(事業未払金+支払手形)]÷(経常増減差額+減価償却費+国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値])

※5 EBITDA有利子負債倍率=[(短期運営資金借入金+1年以内返済予定設備資金借入金+1年以内返済予定長期運営資金借入金+設備資金借入金+長期運営資金借入金)-現預金]÷(経常増減差額+減価償却費+国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値])

※6 「2019年度(令和元年度)社会福祉法人の経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構)

※7 「2019(R1)事業年度決算 経営分析参考指標 法人編」(独立行政法人福祉医療機構)

※8 TKC社会福祉法人経営指標(S-BAST)令和2年度版

## 事業の経過およびその成果

当会計年度における平均の有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により1.10倍となり前期比0.45ポイント低下しています。しかしながら、介護分野における有効求人倍率は4.5倍～7倍を推移しており、依然として高い水準が続いております。介護、福祉業界における人材の採用、定着、育成は重要なテーマとなっておりますが、COVID-19の蔓延を受けて、介護現場ではクラスター（集団感染）の発生防止に注力した結果、職員の心理的な負荷が高い状態が続き、職員へのケアがいつも以上に必要になっております。

こうした状況のなか、当法人の当会計年度のサービス活動収益（売上高）は、前期比2.64%増収の25億4,921万円となりました。この増収額のうち、2,314万円は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の事業者向け支援金となっております。

### 杜の家くりもと拠点区分

杜の家くりもと拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比1.77%増の5億412万円となりました。COVID-19の影響により、特別養護老人ホームやショートステイ等の稼働率は1.18%低下、高齢者のデイサービスの稼働率は6.49%の低下となりました。一方、訪問介護は、通所介護から切り替えての利用希望が増えたことなどから堅調に推移し34.39%増、企業主導型保育事業は70.92%増となりました。かねてから拠点全体での人件費率が高いことが課題となっていましたが当会計年度は62.79%となりほぼ適正な水準となっております。

### 杜の家やしお拠点区分

杜の家やしお拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比3.60%増の6億7,807万円となりました。特別養護老人ホームとショートステイのベッドコントロールは、2020年4～9月の間で、COVID-19の影響があったものの、通年ではほぼ横ばいとなりました。居宅介護支援は、職員の増員により増収となり、企業主導型保育事業も増収となりました。人件費は1,367万円増となり、人件費率で53.93%（前期比0.15%増）となっております。

### 杜の家なりた拠点区分

杜の家なりた拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比6.46%増の6億5,628万円となりました。特別養護老人ホームとショートステイについて、2019年11月から110床の運用となり、稼働率も堅調に推移し増収となりました。障害者の短期入所10床については、稼働を開始できていませんが、2021年6月にサービス提供開始の予定です。放課後等デイサービスについては、COVID-19の影響により、2020年4～8月の利用が大きく落ち込み、前期比11.05%減収の2,951万円となりました。人件費は、増収に伴って上昇し、前期比7.21%増の3億8,166万円（人件費率58.16%）となっております。

特別養護老人ホーム3拠点では、一部にCOVID-19の影響が見られたものの全体としては堅調に推移し、すべての拠点で増収となりました。人件費は、金額で前期比1.88%増となり、比率で0.37減となりました。事業費は、感染症対策の影響により前期比8.11%増となり、介護用品費、保健衛生費、消耗器具備品費が大幅な増加となりました。

法人全体での経常増減差額（経常利益）は、前期比3.34%増の1億3,223万円となりました。特別増減においては、2019年度の台風等による災害損失2,708万円と、サービス付き高齢者住宅事業計画の中止などに伴う特別損失8,041万円を計上するなどして、これらにより、当期活動増減差額（最終利益）は、8,133万円（最終利益率3.19%）となりました。

### 栗源拠点区分

栗源拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比9.07%増の6億5,068万円となりました。恋する豚研究所の部門は、COVID-19による「緊急事態宣言」の影響を受け、百貨店向け等の卸売が減少し、食堂部門は2020年4～6月の売上が最大で6割減となるなど先行きが不透明になりました。このような状況のなか、スーパーマーケット等への販売先の転換、お歳暮商戦、バレンタインなどのイベント商戦などの営業戦略が奏功したことや、食堂部門も客足が戻ってきたことなどから、通期で増収となり、経常増減差額（経常利益）は3,034万円の黒字を達成しました。農林業の部門である栗源第一薪炭供給所では、農林事業に苦戦しており、経常増減差額（経常利益）で▲1,956万円となりました。この拠点区分全体としての経常増減差額（経常利益）は、1,130万円の黒字となっております。

### 福祉楽団 地域ケアよしかわ拠点区分

福祉楽団 地域ケアよしかわ拠点区分のサービス活動収益（売上）は、前期比14.23%減の2,353万円となりました。居宅介護支援事業の職員の減少と配置転換等をしたため、その分が減少となり、訪問介護事業は、横ばいでした。経常増減差額（経常利益）は、▲391万円となりました。

### 香取CCC拠点区分

香取CCC拠点区分のサービス活動収益（売上）は、2020年度から就労準備支援事業を受託したこと等から528万円増となりました。COVID-19による社会情勢の変化に対応し、相談員の増員を行いました。

## 対処すべき課題

### 1

#### ケアの質の向上と「杜の家」の情報発信

ご利用者のひとりひとりの個別性を尊重し、持てる力、健康な力を活用して、自立を促すケアを実践していくために、ケアの評価、方法の見直しを随時行っていきます。ご利用者やご家族からは、福祉施設の取り組みや運営方法のちがいはわかりにくく、施設での実践や、特長などについて積極的に発信し、選んでいただける施設を目指します。杜の家のロゴや、パンフレットなどを更新し、発信方法を工夫します。施設で提供する食事の質について、管理栄養士や調理員による属人的な質の管理から法人全体でマネジメントできるように体制を整えてまいります。

### 3

#### 報酬改定への対応

2021年4月からの介護報酬や障害福祉サービス費への対応については、体制の変更や、加算の取得等にあたり、法令を遵守し、適切に算定できるように確認をすすめます。国の介護保険のデータベース「LIFE」については上半期に対応するかどうかについて検討してまいります。

### 5

#### 農林福連携事業モデルの確立

農林業部門は引き続き、収入の安定化を目指し、業務の改善を行っていきます。林産品については、家具や玩具など木製の商品開発を行い、製造の工程と仕組みづくり、販売戦略の策定を行います。また、地元自治体と連携して、森林の保全や林業に対する市民の理解を醸成していくための取り組みを展開します。サツマイモについては、栽培技術を向上させ、味、品質の改善に取り組みます。農閑期にジャムやペーストづくりを集中的に行うなど合理的な作業工程の組み立てをし、農林産商品群全体としての「1K good neighbors」のブランドが広く認知されるように広報物の制作を行います。

### 2

#### 人材の育成と定着

ご利用者に最善のケアを展開していくためには、職員の創意工夫や、自ら考えて行動していく実践力が重要になります。解剖生理学的な根拠に基づいたケアの思考過程、ひとりひとりの個性を尊重したケア、利用者の健康な力を活用したケアが展開されるよう能力開発を行っていきます。人材の育成は、長期的な視点にたち、挑戦する機会を創出していきます。職員ひとりひとりの持ち味や能力を大切に、タレントを活かすことができる組織開発を行います。また、職員が安心して働けるよう、労働環境や人事制度の改善を継続して行います。

### 4

#### バックオフィスの合理化

法人本部やバックオフィス業務については、さらなるICTの活用と合理化をすすめます。人事の手続き等について、人事管理ソフトを更新し、職員が主体的に手続きできるようにすることで中間のデータ処理のコストを削減します。備品の管理や、ご利用者への日常生活用品の販売管理についても、中間の事務や棚卸等にかかる時間を削減できるようICTやシステムの導入をすすめます。

### 6

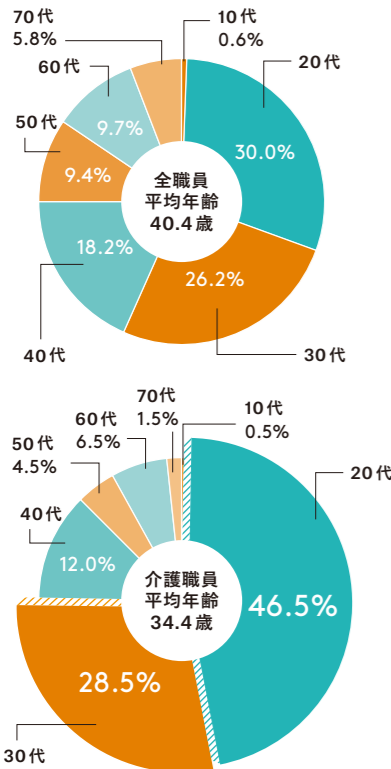
#### 新しい事業領域の開拓

各自治体の第8期介護保険事業計画の情報を収集し、今後の事業展開の方向性について検討します。また、子どもの事業や、障害者のグループホームの検討をすすめます。長期的には事業の多様化を図り、経営リスクを低減させます。制度と制度のスキマをカバーするような福祉実践を創造していくとともに、行政に対しては引き続き積極的な提案を行い、新しい福祉のあり方の実践に向けて具体的な計画立案をすすめます。

# 基礎データ BASIC DATA

## 職員について

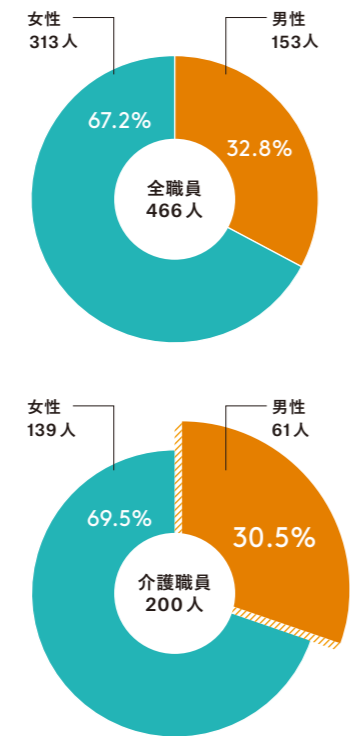
### 年齢



▶ 介護職員における全国平均年齢は45.0歳(※)です。福祉楽団の介護職員は20代から30代の職員が75%を占めており若い職員が活躍しています。

※ 全国平均年齢は「令和元年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

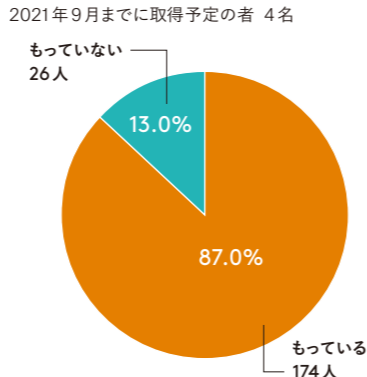
### 男女比



▶ 介護職員における全国男性比率は22.7%(※)です。福祉楽団の男性比率は30.5%となっており、全国平均より多くの男性が活躍しています。

※ 全国平均は「令和元年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

### 介護職員の介護系資格保有割合



#### 資格種別

資格種別	保有人数	保有割合
ホームヘルパー2級	43	21.5%
介護職員初任者研修修了	75	37.5%
介護職員実務者研修修了	40	20.0%
介護福祉士	80	40.0%
外国の看護師等の資格	25	12.5%
いずれかの資格保有者数	174	87.0%

▶ 特別養護老人ホームの介護職は無資格であっても勤務できますが、無資格の職員を減らしていくことが課題となっています。新規学卒者は、新入職員研修を受講すると全員が「介護職員初任者研修」が取得できるようにプログラムされています。

### 障害者の雇用率

# 6.87%

(障害者の法定雇用率 2.3%)

▶ 民間企業の全国平均は2.15%(※)ですが、福祉楽団では6.87%となっています。法人全体で32名の障害者雇用を行っています。

※ 全国平均は「令和2年 障害者雇用状況の集計結果」(厚生労働省)を参照した。

### 外国人の雇用状況

▶ 2020年度は合計4名の外国人職員が新たに加わりました。「介護」1名、「特定活動(EPA)」1名、「特定技能」1名、その他の在留資格1名)

(単位:名)

国籍	在留資格					合計
	介護	特定技能	技能実習	特定活動(EPA)	その他	
インドネシア	2	1	5	18	0	26
ベトナム	0	1	0	1	0	2
フィリピン	0	0	0	0	1	1
ロシア	0	0	0	0	1	1
合計	2	2	5	19	2	30

#### ラスマワンシャー シアギアン (28)

杜の家なりた ケアサービスワーカー  
インドネシア出身

2020年8月 在留資格「特定技能」で福祉楽団に入職



前は山口県の施設で働いていましたが、イスラム教への配慮がある福祉楽団への転職を決めました。インドネシア人の先輩職員が多いので、アドバイスをもらいやすく、安心して仕事に取り組みます。「杜の家なりた」はまるで家族と一緒にいるみたいで、利用者さんの笑顔を見ると特にうれしい気持ちになります。

### 平均勤続年数・採用率・離職率・平均年齢

		平均勤続年数	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]	平均年齢
介護職員	フルタイム	4.4	13.6% [19.3%]	6.4% [16.0%]	31.0
	パートタイム	4.8	20.0% —	30.0% —	43.2
それ以外の職種	フルタイム	5.0	24.6% —	13.8% —	35.8
	パートタイム	4.2	31.6% —	25.0% —	47.0

※全国平均は、「令和元年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

### 各拠点別

	営業年数	採用率	離職率	平均勤続年数	平均年齢
杜の家くりもと	18.0	12.1%	9.1%	5.7	38.3
杜の家やしお	12.9	21.1%	7.9%	4.9	32.9
杜の家なりた	4.8	22.4%	10.6%	4.2	35.2
栗源	8.5	18.8%	31.3%	4.7	36.2
地域ケアよしかわ	6.9	0.0%	0.0%	12.5	46.7
香取CCC	4.0	0.0%	0.0%	6.4	32.8
サポートセンター	19.3	27.8%	5.6%	5.7	41.0

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。 ※採用(離職)率=2020年度の採用(離職)者数÷2021年3月31日の在籍者数×100

### 新規学卒者の状況

	採用者数	3か月未満の離職者数	3か月以上6か月未満の離職者数	6か月以上1年未満の離職者数	1年未満の離職者数	1年未満の離職率
2018年度	30	2	0	3	5	16.7%
2019年度	21	1	0	2	3	14.3%
2020年度	17	0	0	1	1	5.9%

### 有給休暇等の取得状況

#### 年次有給休暇の取得状況

	付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率 (前年度)	[全国平均]
フルタイム	283	4,066	3,126.0	76.9% (75.4%)	—
パートタイム	196	2,043	1,609.0	78.8% (73.4%)	—
法人全体	479	6,109	4,735.0	77.5% (74.7%)	[56.3%]

※全国平均は、「令和2年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照した。

#### リフレッシュ休暇の取得状況

① 12日間以上の連休(勤続2年以上の職員が対象)

	付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長連休日数
介護職員	113	565	535	94.7% (96.6%)	12.48 (12.52)	33
法人全体	211	1055	960	91.0% (94.1%)	11.32 (11.99)	33

② 5日間以上の連休(勤続4年以上の職員が対象)

	付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長連休日数
介護職員	71	213	204	95.8% (93.5%)	7.04 (7.12)	10
法人全体	141	423	390	92.2% (92.1%)	6.45 (6.72)	19

### 賃金の状況

	平均勤続年数 [全国平均]	平均年収 [全国平均]	平均年齢 [全国平均]
介護職員	4.6 [7.3]	3,228 千円 [3,600 千円]	30.9 [43.0]
相談援助職(介護支援専門員を含む)	9.2	3,937 千円	39.4
全体	5.8	3,603 千円	34.8

※全国平均は、「令和2年 賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)から、「介護職員(医療・福祉施設等)」を参照した。※上記は、2021年3月31日在職のフルタイム職員を対象に算出した。※「介護職員」は、職種区分が「課長級以上」を除く職員で算出した。※「平均年収」は、勤続年数1年以上の職員を対象にした。



## 利用者について

### ベッドの稼働率（特養・ショート・グループホーム）

拠点名	稼働率
杜の家くりもと	98.14%
杜の家やしお	100.34%
杜の家なりた	96.32%
法人全体	<b>98.28%</b>
全国平均（※）	93.3%

※「2019年度特別養護老人ホームの経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）の定員規模100人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照した。

▶福祉楽団のベッド稼働率は、全国平均と比較すると高くなっていますが、職員の処遇改善を持続的に進めていくためには、100%に近い運営をしていく必要があります。

### 特養の待機者の状況

（単位：名）

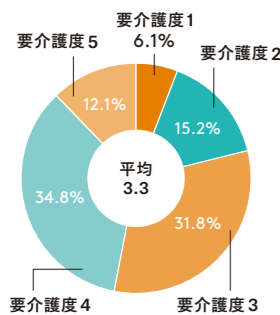
拠点名	待機者数		
	2018年度	2019年度	2020年度
杜の家くりもと	74	86	106
杜の家やしお	47	73	98
杜の家なりた	87	70	44
全国平均（※）	117.3	100.8	情報なし

※「2019年度 特別養護老人ホームの入所状況に関する調査の結果について」（独立行政法人福祉医療機構）を参照した。

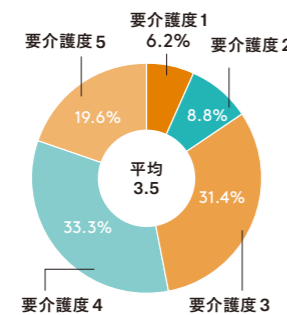
▶特別養護老人ホームの入所待機者数は、施設整備が進んできていることあって減少傾向にあります。ケアサービスの質で施設が選ばれる時代になってきています。

### 特養の要介護度

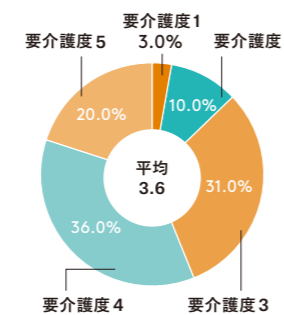
#### ■ 杜の家くりもと



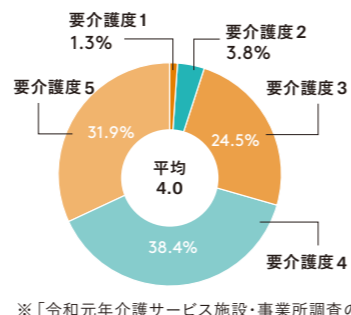
#### ■ 杜の家やしお



#### ■ 杜の家なりた



#### ■ 全国平均（※）

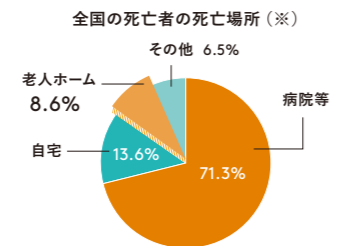


※「令和元年介護サービス施設・事業所調査の概要」（厚生労働省）の「介護老人福祉施設」を参照した。

### 特養の終末期ケアの状況

拠点名	死亡退所者数	看取り介護加算算定件数	死亡場所		
			施設	その他	施設の割合
杜の家くりもと	16	14	16	0	100.0%
杜の家やしお	32	22	28	4	87.5%
杜の家なりた	22	11	14	8	63.6%
法人全体	70	47	58	12	77.3%

▶死亡場所の統計を見ると、約7割の人が病院で亡くなります。老人ホームで死亡する人は8.6%となっています。福祉楽団では、杜の家で最期を迎えたいという人に対しては、最期まで生活が継続できるように支援しており、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。2020年度は施設で58名のお看取りをさせていただいております。



※「2019年度 人口動態調査」（厚生労働省）から、「死亡場所別にみた年次別死亡数」を参照した。

### 訪問介護の月平均のサービス提供時間数

拠点名	提供時間数（時間）
杜の家くりもと	342.2
杜の家やしお	545.5
地域ケアよしかわ	362.1
法人全体	1,249.8

### ケアマネの人数と居宅介護支援の件数

（単位：名）

拠点名	ケアマネ人数	利用者数（要支援）	利用者数（要介護）
杜の家くりもと	3	18	108
杜の家やしお	4	1	149
杜の家なりた	1	3	29
地域ケアよしかわ	1	1	16
法人全体	9	23	302

## そのほかの報告事項

## OTHERS

### 事故の発生状況

#### ■ インシデント及び事故の発生状況

（単位：件）

事故レベル	福祉楽団の事故レベル定義（抜粋）	杜の家くりもと拠点	杜の家やしお拠点	杜の家なりた拠点	地域ケアよしかわ拠点	法人全体
3（事故）	・医療機関への受診が必要となった。 ・受診の結果、縫合や固定等の処置は必要なかった。	9	0	1	0	10
4（事故）	・検査の結果、全治14日以内（見込）の縫合や固定等の処置や入院が必要となった。濃厚な処置や治療を要した。	1	1	2	0	4
5（事故）	・全治14日以上（見込）の治療や入院が必要となった。 ・事故の結果、障害や後遺症が残った。	7	5	8	0	20
6（事故）	・事故により死亡となる。（原疾患の自然経過によるものを除く。）	0	0	0	0	0
合計		17	6	11	0	34

#### ■ レベル5以上の事故の内訳について

（単位：件）

	骨折	誤嚥	行方不明	その他	合計
杜の家くりもと	7	0	0	0	7
杜の家やしお	5	0	0	0	5
杜の家なりた	8	0	0	0	8

※2020年度はレベル6の事故はありませんでした。

### 虐待および身体拘束の状況

#### ■ 虐待の状況

高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断して市町村へ通報した事案は3件でした。通報をした事案の詳細は次のとおりです。

施設名	杜の家なりた（千葉県成田市）	杜の家やしお（埼玉県八潮市）	杜の家くりもと（千葉県香取市）
種類	高齢者虐待防止法に基づく虐待	高齢者虐待防止法に基づく虐待	高齢者虐待防止法に基づく虐待
通報先	千葉県成田市高齢者福祉課	埼玉県八潮市長寿介護課	千葉県香取市高齢者福祉課
通報日	2020年5月19日	2020年12月9日	2020年12月21日
経過等	5月19日、特別養護老人ホームにて、介護職員が入居者の言動に対して腹を立て、右手の甲をはたき上げたことにより、打撲し皮下出血ができる。内部調査の結果、身体的虐待と判断したことから、5月19日に成田市高齢者福祉課へ通報、同日、家族へ説明と謝罪を行う。2020年6月5日に成田市高齢者福祉課による立入調査を受ける。	12月8日、特別養護老人ホームにおいて、清掃担当職員が入居者の言動に腹をたて、頭をはたき、威嚇するような言動をとった。内部調査の結果、身体的虐待、心理的虐待があったと認められ、12月9日家族への説明、謝罪を行い、八潮市長寿介護課に通報する。2020年12月17日に八潮市長寿介護課による立入調査を受ける。	12月17日、特別養護老人ホームにて、介護職員がその職員の服を掴んでいた入居者の右手掌をはたく。内部調査の結果、身体的虐待と判断したことから、12月19日に家族へ説明と謝罪を行う。12月21日に香取市高齢者福祉課へ通報。

#### ■ 身体拘束の状況

拠点名	杜の家くりもと（千葉県香取市）	杜の家やしお（埼玉県八潮市）
概要	4点柵	車椅子ベルト
実施実人数	1名	1名
実施延べ日数	224日	1日
内容	特養入居者 骨折による安静が必要であったが、認知症によりベッドから転落することがあり、臥床中4点柵を行う	ショートステイ利用者 夜勤者が見守りができない時間帯のみ、車椅子のベルトを使用

当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては情報公開をいたうえて、その必要性の検討と、身体拘束の早期解除を目指して援助してまいります。

#### 「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い場合
- 非代替性 身体拘束以外に代替する介護方法がないこと
- 一時性 身体拘束は一時的なものであること

### 感染症等の集団発生状況

感染症法に定める1類から5類の感染症及び指定感染症について施設内での発生はありませんでした。新型コロナウイルス感染症の集団感染はありませんでした。

## 車両事故の発生状況

(単位:件)

事故レベル	福祉楽団の事故レベル定義(抜粋)	件数
1(インシ)	・出来事は起きたが、人身や車両への被害はなかった。	1
2(事故)	・車両や事故対象物に軽度の損傷が生じた。 ・人身へ処置や治療は行っていない。	10
3(事故)	・車両や事故対象物に大きな損傷が生じた。 ・人身への何らかの処置が必要となった。	4
4(事故)	・全治14日以内(見込)の縫合や固定等の処置や入院が必要となった。濃厚な処置や治療を要した。	0
5(事故)	・生命に重大な危機がある。 ・全治14日以上(見込)の治療や入院が必要となった。	0
6(事故)	・事故により死亡となる。	0
合計		15

## 労働災害の状況

(単位:件)

拠点名	件数	職種	主な被災内容
杜の家くりもと	5	介護職員	左足アキレス腱炎
		介護職員	左手第一指火傷・左手第二指火傷
		介護職員	左腰部筋肉痛
		栄養士	顔面火傷
杜の家やしお	3	ハウス職員	腰臀部打撲傷
		介護職員	左目の炎症
		介護職員	右手打撲・左足打撲
栗源	4	調理師	左手第二指第一関節裂傷
		就労支援員	左手の腫れ
		工場職員	左手親指先切傷
		調理補助	両ドゥケルパン腱鞘炎・両大腿四頭筋腱炎
販売員	脛裏の軽い炎症・結膜炎		
合計	12		

## 関連当事者との取引等の内容

■ **関連当事者との取引について** 当法人は、社会福祉法人会計基準により開示対象となる取引はありません。

■ **その他** 開示対象となる関連当事者との取引はありませんが、以下の取引について公表します。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	取引金額
役員又は評議員及びそれらの近親者が議決権の過半数を有している法人	株式会社生活ラボ	千葉県千葉市	社会福祉施設の開設支援並びに経営に関する指導及び助言、不動産の賃貸	竹内利勝 (55.0%) 飯田大輔 (30.0%)	社会福祉施設の開設支援に関する業務、社会福祉施設の経営に関する指導及び助言の業務受託	360千円
(関連当事者に該当しますが、当法人が株式を所有している会社)	ケアコロポ株式会社	東京都渋谷区	ソフトウェアの企画、製作、販売及び運営	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (32.6%)	介護記録システム「ケアコロポ」の利用料支払い	2,801千円
(関連当事者に該当しますが、当法人が株式を所有している会社)	株式会社香取農業耕社(農地所有適格法人)	千葉県香取市	農作物、林作物の生産・加工・販売	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (29.0%)	農作物、林作物の生産・加工・販売の業務受託	6,766千円
(関連当事者に該当しますが、重要性が高いと判断した会社)	株式会社恋する豚研究所	千葉県香取市	豚肉及び食肉加工品の企画、販売	飯田大輔 (45.0%)	精肉スライス、精肉加工、梱包発送作業等の業務受託	454,379千円
					精肉加工品等の購入	5,177千円

## 内部監査

当法人の理事長は、当法人の常務理事に内部監査の担当を命じます。担当者は、内部管理体制の状況等のモニタリングを行い、法令、定款および法人の規定に照らして適正かつ有効に行われていることを確認します。これら内部監査の結果について、内部監査報告書を作成し、理事長に報告します。指摘すべき事項がある場合には、当法人の理事長の承認を得たうえで、要改善事項として指摘し、改善実施状況の確認を行います。

## 監事の監査報告書(謄本)

社会福祉法人 福祉楽団 理事長 飯田 大輔 殿		監査報告書	
私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。			
1. 監査の方法及びその内容	2. 監査の結果		
各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。	(1) 事業報告等の監査結果 ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事業は認められません。		
	(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。		
2021年5月20日	社会福祉法人 福祉楽団	監事 大原 裕介 ㊟	監事 星川 望 ㊟

## 行政監査の結果

実施日	2020年7月29日(水)
根拠法令	児童福祉法第59条第1項
対象種別	認可外保育施設
実施官庁	八潮市
実施場所	ツルガソネ保育所(埼玉県八潮市鶴ヶ曾根606-1)
監査結果	以下のとおり

### 指導事項及び要望

なし

実施日	2020年10月1日(木)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施官庁	公益財団法人児童育成協会
実施場所	ツルガソネ保育所(埼玉県八潮市鶴ヶ曾根606-1)
監査結果	以下のとおり

### 指導事項及び要望

なし

### 口頭での指導事項

児童(4名分)の入所時の健康診断記録として提出を受けた健康診断結果(母子健康手帳のコピー)が、入所時から6か月以上前のものであるので、今後、このような場合は、入所時に健康診断を確実に受診させること。健康診断結果に健康診断を実施した病院名(担当医師名)の記載及び捺印がないので、是正すること。

実施日	2020年10月13日(火)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施官庁	公益財団法人児童育成協会
実施場所	イワへの保育所(千葉県香取市岩部869-48)
監査結果	以下のとおり

指導事項	改善報告
[企業主導型保育事業助成関連] 同定員と現員に乖離がある。増員見込みもあるようだが、引き続き利用児童の増員策を図ること。	2020年6月、香取市子育て支援課、同市児童館、栗源区内の事業所等に利用案内を行いました。2020年9月、児童館から、2021年2月、子育て支援課の案内により利用開始に繋がりました。
[保育業務等関連] 保育サービスの利用に関して、保護者(母親)の就労証明書のない児童分1名があったので、勤務証明書、就労証明書又は支給認定証を提出させること。	当該児童の父親は就労していましたが、母親は妊娠・出産のため自宅療養していました。市町村の「保育を必要とする事由」要件のうち、「出産(妊娠中又は出産前後)」に該当するため、同市子育て支援課に問い合わせ、2020年2月1日付で、施設型給付費・地域型保育給付費等支給認定通知書兼支給認定証の交付を受けました。
[保育業務等関連] 児童1名の入所時の健康診断記録が確認できなかったため、保護者から母子健康手帳コピー等の健康診断結果を提出させるなど、是正策を講じること。	該当する児童については、母子健康手帳のコピーを提出してもらいました。また、入所時に必要書類等の提出が漏れないよう別紙のとおり、チェックリストを作成し対策しました。
[経理事務関連] 不動産登記簿謄本によると、協会の事前承認を得ないで抵当権設定を行っているため、協会への承認手続きをすること。	2020年10月23日に財産処分(抵当権の設定)の承認申請を行い、2021年3月5日付けで承認通知書を受領しています。2021年3月8日付けで財産処分完了報告を提出しています。

実施日	2020年11月6日(金)
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5
対象種別	企業主導型保育所
実施者	公益財団法人児童育成協会
実施場所	シタカタ保育所(千葉県成田市下方686-1)
監査結果	以下のとおり

改善を要する事項	対応結果
定員と現員に大きな乖離がある。増員見込みもあるようだが、保育需要の見通しを踏まえた増員計画を作成し、引き続き利用児童の増員策を図ること。	2021年1月から地域枠の児童を受け入れるなど、増員を図り、現在は9名の利用児童が在籍しています。来年度も、現在の在籍児童に加えて、新たに3名利用児童が増える予定があります。今後も自治体の協力も仰ぎながら、継続的に利用児童の確保に努めてまいります。
児童の入所にあたっては、重要事項説明書を用いて説明をし、申込書で利用をみとめているが、契約書を取り交わすか、もしくはサービス利用開始日及び期間を明記した許可書を発行するなど、契約書としての体裁を整え、締結すること。	利用申込書の「申込日」欄には、利用開始日を記載してもらっておりましたが、利用開始日および期間が明確になるように、項目を加えました。
園だよりを作成していないので、毎月作成して発行すること。	調査時にお伝えしましたが、保育記録はICTを活用しており、保護者はオンラインで記録を閲覧することができます。写真や動画も活用しながら、日々の様子や行事の様子などを記録に残しています。歌声などの音声も聞いてもらえるため、紙媒体よりも児童の様子が伝わりやすく、家族で記録を見るのを楽しみにしている保護者も多く、好評を得ています。行事予定などは別途お知らせを配布しており、必要な情報の伝達、共有はできています。今後も、書面とICTを併用しながら、情報の共有を図っていきます。
児童(3名分)の入所時の健康診断記録が確認できなかったため、保護者から検診結果又は母子健康手帳のコピーの提出を受け、今後は、入所時に健康診断を確実に実施すること。	3名のうちの1名は現在利用がないため、残り2名の保護者に提出を求めましたが、入所前半の期間に集団検診を受け、今後は、入所時に健康診断を実施しており、当該児童の健康状態は良好であることを確認しております。今後は、必ず入所時に健康診断書もしくは母子健康手帳の写しの提出を受けるように致します。

実施日	2021年3月1日(月)
根拠法令	児童福祉法第59条第1項
対象種別	認可外保育施設
実施官庁	千葉県
実施場所	シタカタ保育所(千葉県成田市下方686-1)
監査結果	以下のとおり

### 指導事項及び要望

なし

実施日	2021年3月1日(月)
根拠法令	児童福祉法第59条第1項
対象種別	認可外保育施設
実施官庁	千葉県
実施場所	オオバタケ保育所(千葉県香取市岩部869-60) イワへの保育所(千葉県香取市岩部869-48)
監査結果	以下のとおり

### 指導事項及び要望

なし



自立的で創造的な人々の交わりと遊びごころのある共生社会を実現するための事業方針

## 1 誰もがありのままに、その人らしく、地域で暮らすためのアクション

子ども、高齢者、障害のある人など、だれもが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる地域共生社会を実現するため、創造的な福祉実践を展開していきます。特別養護老人ホーム等の福祉施設においても、家族や地域住民と新しいかたちでのつながりをつくります。福祉現場からの臨床研究や情報発信を積極的に行い、福祉実践に対する市民の理解を深める取り組みを展開します。産業化の進展とともに人々の生活や福祉の在り様はますます複雑化していくと考えられます。長期的な視点に立った支援のあり方や、生命の危機を見逃さないための仕組みを整えます。また、福祉事業者だけで地域の諸課題を解決することは困難です。さまざまな産業、NPO、行政、市民との協働を一層進めて、楽しく暮らせる地域社会の実現を目指します。

- | 1 | 科学的根拠に基づくケア実践と、福祉臨床を活用したケア研究の推進
- | 2 | 特別養護老人ホーム等の中核事業のケア実践力向上と情報発信
- | 3 | すべての拠点で、分野を横断した「伴走型」の相談支援体制の確立
- | 4 | ほかの産業やNPO、行政と協働した地域を楽しくするための事業実施
- | 5 | 社会情勢の変化に伴う「福祉施設」の新しいあり方の検討と提案

## 2 多様性を前提とした自ら学び、創造力を引き出すチームマネジメント

職員もひとりひとり多様であるという前提にたち、職員が自立し、創造的に学び、向上していけるような機会を保障します。教育や研修という受動的かつ名詞としての人材育成ではなく、自ら学び、意欲が湧き、創造力が引き出されるようなチーム、組織のあり方を検討し、具体的に行動します。職場に少しの楽しさと、面白みをつくることを意識し、職員ひとりひとりの創意工夫やアイデアを大切にします。学びの機会創出にはICTによるツールの開発や、ほかの福祉事業者と連携するなど、より広い視野をもって実施していきます。外国人職員の割合も高くなるなかで、そうした組織の環境に合わせた情報提供のあり方を再検討し、質の高いチームビルディングが実現されるよう工夫していきます。

- | 1 | 職員が自ら気づき、学ぶ機会を保障し、支援します。
- | 2 | 人事制度には「楽しさ」や「面白さ」が感じられるよう改善します。
- | 3 | 「やさしい日本語」による情報発信の仕組みを整えます。
- | 4 | 多様性がリアルに理解できるような機会を継続的につくります。
- | 5 | 職員ひとりひとりの能力を信頼し、積極的な起用を行います。

## 3 安定した経営と、持続可能な経営基盤の確立

持続的な成長のためには、安定した経営基盤が必要になります。財務状況について明確な目標を定め、適切なモニタリングを実施し、即時的な業務改善につなげます。不安定要素の高い就労支援事業等には新規の投資を凍結し、既存施設の修繕や改修について計画的に進めていきます。バックオフィスの業務効率化のため、ほかの法人との連携や、すべてのコストについて見直し、最適化を図るとともに、ICTの活用やケアの質の向上、職員の業務負担軽減のための投資は積極的に行います。物品の調達にあたっては、自然環境への負荷や社会的公正について適正に評価し、調達基準を明確にします。自然災害や感染症のパンデミックなどの備えのため一定のキャッシュポジションを確保します。また、災害対策計画の見直しをすすめるとともに、備蓄品や非常時の体制について段階的に整備をすすめます。福祉楽団の事業について発信し、応援したい、寄付したいと思ってくれる人を募り、実践についてきちんとフィードバックし、寄付したことが楽しく感じられる仕組み、福祉楽団「サポーターズ」を充実させていきます。

- | 1 | 財務状況についての目標値の設定と達成のためのモニタリングと改善  
改善経常増減差額比率は、毎年3%以上を確保する  
EBITDA [(有利子負債-現金) ÷ (経常利益+減価償却)] は、毎年12倍以内とする  
2024年3月末時点でのキャッシュポジションは3億円とする
- | 2 | 就労支援事業など収入の不安定要素が高い事業への新規投資の凍結
- | 3 | ICTの活用による合理化と業務改善
- | 4 | 建物の修繕の計画的な実施
- | 5 | 自然環境と社会的公正に配慮した調達基準の策定と実施
- | 6 | 災害や非常時に備えた計画の見直しと備蓄等の段階的整備
- | 7 | 福祉楽団「サポーターズ」の拡大  
2021年3月120名 2022年3月140名 2023年3月160名 2024年3月180名

# 2021年度 事業方針

## FY2021 POLICY

1

### ケアワーク・ソーシャルワーク技術の向上

#### 1-1 姿勢と清潔への適切なアプローチ体制

- ▶ 要介護者が使用するイスやテーブルの高さ、姿勢保持について適切なアセスメントとケア展開を行います。姿勢保持のための介護用品、車いす等の整備を積極的に行います。
- ▶ 要介護者の整容（頭髪、爪、ひげ等）を適切に実践します。
- ▶ 入浴や清拭、陰部の清潔などの実施について定期的にモニタリングを実施し適切なケア実施につなげます。

#### 1-2 処方薬の再評価と医師との連携

- ▶ 入居者等に処方されている薬の再評価を薬剤師、医師と連携してすすめます。
- ▶ 介護職員に対して、処方薬の基本的な知識を伝えるための研修を行います。

#### 1-3 断らない相談支援の仕組みづくり

- ▶ 重層的相談支援体制について市町村と連携し勉強会などを企画し、地域の相談支援体制のあり方について積極的に発信していきます。
- ▶ すべての事業所の相談支援部門は、「断らない相談」「包括的な相談」を基本方針として、相談者がかかえるさまざまな困難、不安、複雑な事情に対して、総合的に、ワンストップかつ制度横断的な視点をもってかかわっていくためのスキルと能力の向上を図ります。

#### 1-4 障害のある人などの就労支援

- ▶ 農林業分野において、森林内の作業道の敷設や、サツマイモの栽培方法等について科学的な手法で分析、構造化し、効率的な農林業経営のための定量的な把握ができるようにします。
- ▶ 激変する市場動向を見極め、食肉、食肉加工品の販売先や販売手法など創意工夫をもって、販路の拡大を目指します。引き続き、積極的な営業を展開していきます。
- ▶ 林産品を活用した木工品、家具づくりのための基盤整備を行います。
- ▶ 刑余者、累犯障害者を新たに1名採用します。

2

### 豊かな創意工夫がうまれる能力開発と組織づくり

#### 1-1 ケアチームの専門職の増員

- ▶ 法人全体のケアについてマネジメントができる介護福祉士、看護師、理学療法士等を1名増員し、ケア実践基盤、スーパーバイズ機能を強化します。

#### 1-2 専門技術・知識を持つ職員の育成と配置

- ▶ 感染管理について専門の知識を修得する職員（関連学会への加入支援や認定看護師の取得支援等）を1名配置します。
- ▶ 解剖生理学に基づくケア展開過程の研修を、統括UL以上に対して実施します。
- ▶ 再犯防止のためのかかわり方や、累犯障害者に対する支援などについて、一般的な刑法手続き、弁護士等の連携について理解している職員を各事業拠点に1名配置します。
- ▶ 法人内の相談支援事例を共有し、ロールプレイ型の研修を実施します。

#### 1-3 職員の処遇改善

- ▶ 職員の年間休日数を3日増やします。
- ▶ 有給休暇、リフレッシュ休暇の取得率向上を図ります。また、リフレッシュ休暇の対象となる職員を拡大します。

#### 1-4 外国人職員向けキャリア研修の実施

- ▶ 日本語をオリジナルとしない職員に対して、法人の理念、マネジメント展開過程、介護展開過程などの研修を企画し、その職員の能力と必要性に合わせて研修を実施します。
- ▶ すべてのマネジメント層に対して、「やさしい日本語」についての研修を行います。

#### 1-5 多様性を前提とした職場づくり

- ▶ 職員はひとりひとり個性をもった人であるという前提にたって、その職員の持てる力、良さに着目して、その職員が成長していけるように個別のアプローチを行います。

3

### 経営管理体制の効率化と新たな経営リスクへの対応

#### 1-1 事業継続計画についての検討

- ▶ 災害、感染症などにより、通常の事業が継続できない事態に備えて、どのようなリスクが存在するかの洗い出し、危機発生時の事業継続の方針と、その方法について、計画策定のための準備を行います。

#### 1-2 リアルな防災訓練の実施

- ▶ 災害対策計画に基づいて、地震や台風など具体的な災害を想定してリアルな防災訓練を実施します。経営層においては、災害発生時の指揮命令について机上訓練を実施します。

#### 1-3 人事情報管理システムの導入

- ▶ 人事関連の手続きについて、事務職員が主導の紙ベースの手続きから、当該職員主導の、電子化した手続きにするためシステムを導入します。バックオフィスの事務負担の軽減とコストの合理化を図ります。

#### 1-4 経営指標管理の徹底

- ▶ 稼働率、コスト比率などの決算分析、経営指標管理を月次毎に行い、改善へのアプローチを継続して実施します。経常増減差額比率5%を目標とします。

#### 1-5 2021年度 制度改正への対応

- ▶ 2021年4月からの新たな介護報酬、障害福祉等の給付費について、勉強会を実施し、法令を遵守し、適切な体制、加算算定ができるように勉強会を実施します。報酬構造についてはその事業の責任者が適切に理解し、適切に見直しができるような仕組みを整えます。

4

### 新しい事業領域の開拓と新規事業の検討

#### 1-1 第8期介護保険事業計画の情報収集

- ▶ 2021年4月からの第8期介護保険事業計画の情報収集を行い、地域の福祉ニーズへの対応や事業リスクの分散の観点からどのような事業に取り組むべきかの検討をすすめます。特に、小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護について検討をすすめます。

#### 1-2 子ども領域、生活困窮者の相談支援体制等について検討

- ▶ 福祉分野のなかで特に重要と考えている子どもの分野について、現在の、保育、社会的養護、里親支援などの現状について調査をすすめます。生活困窮者自立地域の包括的な支援ができるよう「重層的支援体制整備」について自治体と連携して勉強会や情報交換会などを企画していきます。

# 2021年度 事業計画 FY2021 PLAN

## 杜の家くりもと事業部

事業部長 久古 浩孝



1

利用者の暮らしをより良くするため、基本的なケアを実践します。

- 利用者の顔の清潔や身だしなみを整えること、居住環境を整理整頓することを確実に実行します。
- 毎日の食事がおいしくなるよう、仕入れ原料のコストとその効果を見直します。また、食事のときは床に足をつけるなど、利用者の姿勢にも着目し、その人にとって楽しめる食事の環境を整えます。

2

利用者の支援に留まらず、その人を取り巻く環境等、複雑化したニーズにも対応し支援へつなげます。

- 医療ニーズの高い人の受け皿となれるよう、医療機関との連携を綿密に図ります。また、そのニーズに対応するため、医療的ケアへの研修をすすめ、ケア職のスキルアップを図ります。
- 住み慣れた家で暮らし続けられるよう、相談員や介護職はその人の自宅に伺い、生活全般をアセスメントし、ケアにつなげます。
- 個別の生活状況に応じた生活機能訓練を実施したり、自宅での入浴を想定した機能訓練や住環境を整えます。

3

ケアの目的を理解し、その楽しさややりがいを持って働ける環境を整えます。

- 次世代を育成するため、ケアの目的やチームのマネジメントに関する勉強会を月1回実施します。また、法人内のプロジェクトに参画し、法人理念を発信できる人材育成を進めます。
- ケアコラボにご家族等も参加してもらったり、職員同士による「いいね」を広めるなど、ケアコラボの機能を活用し、ケア実践が楽しくなる環境を整えます。
- 多様な職員が安心して働き続けられるよう、仕事や生活に関する状況のヒアリングを月1回実施し、生活面も含めた相談支援を行います。

## 杜の家なりた事業部

事業部長 安部 明子



1

「生物としての人間」について理解を深め、ケアの専門性を高めます。

- 人体の構造としくみを学ぶ勉強会を年6回開催し、エビデンスに基づいたケアを実践します。
- BMIなどのデータを毎月モニタリングし、状態を適切に把握します。状態の変化はご家族や多職種で共有し、看取り期のケアを一緒に考え、実践します。
- 基本的なケアが適切に行えているかどうかを評価し、改善していくための委員会を再編成します。
- 入浴する時間帯や回数に変化をもたせ、入浴がもたらす効果について検証します。

2

地域の人々と協働する機会を増やし、地域のニーズに応えていきます。

- 相談援助業務を担える介護職員を3名育成し、多様な視点で支援を考え、実践できる人材を増やします。
- 2021年6月から共生型ショートステイを20床に増床します。また、通所介護・生活介護の営業日を増やし、住み慣れた場所での暮らしが継続できるよう支援します。
- 町内会の協力を得ながら、地域住民とともに防災訓練を実施し、災害に備えた対策を、地域全体で考えていきます。

3

職員がやりがいや成長を感じながら働ける環境を整えます。

- OFF-JTを毎月3回実施します。Zoomやオンデマンドによる配信を活用し、参加しやすい環境を整えることで、多くの職員が学べる機会を確保します。
- 介護職員実務者研修など、他事業所と合同で学ぶ機会を設けます。職員個々のスキルを高めるとともに、事業所間の連携を深めながら、ケアの実践につなげていきます。
- 他部署や他事業所でのトライアルジョブを年2回実施し、視野を広げる機会を創出します。

## 杜の家やしお事業部

事業部長 石間 太郎



1

毎日のくらしが今より少しでも良くなるケアを展開します。

- ケアコラボを活用して排泄パターンの見直しを行い、ベッド上でのおむつ交換からトイレ誘導をできる人を増やします。
- 利用者の体格に合わせた椅子やテーブルを準備し、椅子に座って食事ができる環境を整備します。
- ケアサービスワーカーが自ら考え、日常生活の中でリハビリを実践できるように、リハビリチームとの連携を強化します。

2

地域の人々と協働する機会を増やし、地域のニーズに応えていきます。

- 地域の団体と連携して避難訓練を実施します。また年に2回、水害時の避難訓練を行い、災害時にも地域の社会資源としての役割を果たします。
- 2021年8月から、「共生型」で障害のある人のショートステイへの受け入れを開始します。
- 無料学習支援のニーズに応えるため、近隣の大学や地域への認知を広げ、一人でも多くの子に支援ができるよう、支援者を増やします。
- 利用者や地域の人、遊びに来る子どもたちと一緒に、施設の花壇や庭作りを行い、定期的な関係構築に努めます。

3

職員が仕事のやりがいを感じ、成長できる環境を整えます。

- 他部署や他事業所でのトライアルジョブを年2回実施し、視野を広げて日々のケアを行える体制をつくります。
- 事業所内で月に1回、病理生理学のOFF-JTを実施し、根拠をもったケアを行えるように支援します。
- ケアのPDCAサイクルを回せるように、他法人の職員と研修や交流などの機会を設けるなど、自身のケアを客観的に見つめる機会をつくります。

## 福祉楽団 地域ケアよしかわ事業部

事業部長 中村 麻里



1

利用者の持てる力を活かし、自宅でのくらしが継続できるようケアの専門性を高めます。

- 月1回の訪問介護のミーティングで個別援助計画の検討会をおこない、すべての職員がケアのPDCAサイクルを意識してケアを提供します。
- 年4回「自立生活支援のための見守りの援助」でおこなう身体介護について実際のケースを使って検討したり、成功事例を学ぶ機会を設け、自立生活支援の理解を深めます。
- 同居されていないご家族も利用者の様子や記録がいつでも確認できるよう、ケアコラボの家族閲覧機能を積極的に活用していきます。

2

吉川団地内でのみんなの居場所としての役割を活かし、断らない相談支援を実践します。

- 感染症のリスクに十分配慮しながら「みんなの食堂」を継続していきます。
- 子育て、高齢者介護、生活困窮、引きこもりなど、さまざまな困りごとに対し、ワンストップで相談支援を実施します。団地の世帯への個別訪問や吉川団地自治会とイベントを共催して、活動を周知していきます。制度につながらない人へも個別に訪問できる関係を築き、つながり続ける支援を行っていきます。
- 断らない相談支援について地域の関係機関と勉強会をおこない、それぞれの機関が互いの強みを活かした連携のあり方を検討していきます。

3

職員を増員し、ケアの提供時間を延ばせる体制を作るとともに、経営の安定化を目指します。

- 訪問介護員を増員し、介護保険と障害福祉のサービスを合わせて、月380時間以上のケアを提供できるようにします。
- 介護支援専門員を増員し、吉川市内で増えている要介護者の居宅介護支援のニーズに応え、月60件以上の給付管理件数となるようにマネジメントします。

## 栗源事業部

事業部長 山根 正敬



1

外部環境の変化に対応した販売先の開拓や販売方法の工夫、商品開発などを進めています。

- 「恋する豚研究所」のブランドとして新たに売上の核となる販売先を獲得し、経営のリスクヘッジを図ります。
- フラッグシップストアにおいて、お店の味をご自宅でも食べられるように、地域の農家と連携した商品や、お弁当や惣菜などのお持ち帰り商品を開発・販売していきます。
- 「1K good neighbors」部門の商品（ペースト、ジャム、農林産物、木工品など）の売れる仕組みを作っていきます。

2

各部署で作業分解やマニュアル化を進めることで、誰もが働きやすい職場をつくります。

- 森林や農作業などにおいて、科学的な手法での分析、構造化を行うことで、定量的な把握ができるようにします。
- 人に仕事をつけるのではなく、仕事に人をつけることを意識し、人材や材料の最適化、効率化を図ることで、労働生産性や安全性の向上に努めます。

3

新たな分野への挑戦をしていきます。

- 刑余者や生活困窮者など働きづらさを抱えている人を、2021年度末までに2名採用します。また採用にあたっての体制づくりを進めています。
- 高齢になっても働ける環境や体制を模索し、新規の事業につなげていけるノウハウを蓄積していきます。
- 木工機械を整備し、家具などの木製品を製作し販売していくことで、地域の森林資源のさらなる有効活用を進めていきます。

## サポートセンター

サポートセンター長 竹内 利勝



1

職員の持てる力を活用し、高める職場を目指します。

- 改正された人事制度を浸透させ、適切かつ円滑に運用していきます。
- 外国人等の職員への情報提供や伝達力を高めるため、やさしい日本語を学ぶ研修を企画します。
- 法人全体のケア実践基盤強化を図るため、ケアチームに専門職を1名採用します。
- ケアマイスター制度の運用を本格的に開始し、介護の技術や知識をもつ職員を育成します。
- 農村地域の拠点でも安心して働くことができるよう、栗源地区に職員住宅の整備を検討します。

2

持続可能な経営管理体制をつくります。

- 自然災害や感染症などの緊急事態にも事業継続を可能とするための計画を検討します。法人本部の災害時対応マニュアルを作成し、災害時の指揮命令が確実に実行できるようにします。
- 老朽化している杜の家やしおの空調機器と照明器具を全面的に更新し、生活環境と安全性を改善します。あわせて、次年度以降の大規模改修計画の作成と活用できる補助金等の情報収集を行います。
- 経営基盤の安定化のために、定量的な経営指標である稼働率、人件費率、経常増減差額比率を常にモニタリングし、2022年3月末までにキャッシュポジションを2.2億円まで引き上げます。

3

仕事が属人化した状態を改善するため、バックオフィスの体制を整えます。

- リーダーを新たに設置し、お互いに業務をフォローできる体制を強化したり、業務の見える化や標準化を目指します。
- 職員自身がスマホやパソコンから勤怠や各種届出をしたり、給与明細を閲覧できる仕組みをつくるため、10月までに新たな人事情報システムを導入します。

## 香取CCC事業部

事業部長 高木 亜希子



1

相談者の最善を考え行動します。

- 月1回以上の継続的な支援が必要な相談者は、初回面談から1週間以内に個別支援計画を作成します。言語化された支援方針をチーム全体で共有し、場当たりの相談支援とならないようにします。
- 個別支援計画の検討や見直し、支援を滞らせないための5段階の支援レベルや災害時の支援トリアージの更新のため、週1回のミーティングを継続していきます。

2

断らない相談支援を行います。

- 中核地域生活支援センター事業や生活困窮者自立相談支援事業等における香取CCCの活動について、地域に向けて知っていただく機会を設けます。オンラインを併用し、年4回以上開催します。
- 地域の関係者と事例検討の勉強会を隔月で開催し、相互の支援力向上を図ります。併せて重層的支援体制整備事業の勉強会を共催します。
- 地域で孤立し困難を抱えている人や刑余者などが、他者に必要とされる機会や地域での役割、就労体験等の活動場所を創出します。商工会や企業、地域の商店、農業関係者に対し、その必要性を説明し協力を仰ぎます。

3

職員がチームの目的を理解し、自主的に行動できるようフラットな組織運営を行います。

- 職員は、自らがチームや地域等に向けチームの目的を語る場を得ることで、チームの目的や社会的使命を理解します。
- セルフマネジメントができる職員を育成します。職員は必要と考えたことをチームに提案でき、助言を求めながら自主的に取り組みます。職員は対等に発言し、必要に応じ意志決定をしながら、チームの目的や使命を果たせるよう行動します。

## 2021年度予算（資金収支計算書）

(自) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位: 円)

		勘定科目	予算額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,814,562,638	
		就労支援事業収入	654,894,314	
		障害福祉サービス等事業収入	143,316,490	
		公益事業収入	44,552,894	
		借入金利息補助金収入	125,870	
	支出	経常経費寄附金収入	3,683,260	
		受取利息配当金収入	12,136	
		その他の収入	59,017,465	
		事業活動収入計 (1)	2,720,165,067	
		人件費支出	1,304,523,680	
支出	事業費支出	259,339,787		
	事務費支出	177,662,877		
	就労支援事業支出	620,299,391		
	支払利息支出	20,404,508		
	その他の支出	6,281,843		
事業活動支出計 (2)	2,388,512,086			
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	331,652,981			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	245,000,000	
		設備資金借入金収入	36,000,000	
		施設整備等収入計 (4)	60,500,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	214,313,000	
		固定資産取得支出	75,600,000	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	8,396,256	
		施設整備等支出計 (5)	298,309,256	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲ 237,809,256		
	その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計 (7)	0
		支出	長期運営資金借入金元金償還支出	42,537,000
		長期貸付金支出	1,640,020	
		その他の活動支出計 (8)	44,177,020	
		その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	▲ 44,177,020	
		予備費支出 (10)	—	
		当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	49,666,705	
		前期末支払資金残高 (12)	495,665,396	
		当期末支払資金残高 (11) + (12)	545,332,101	

### 法人概要

#### CORPORATE INFORMATION

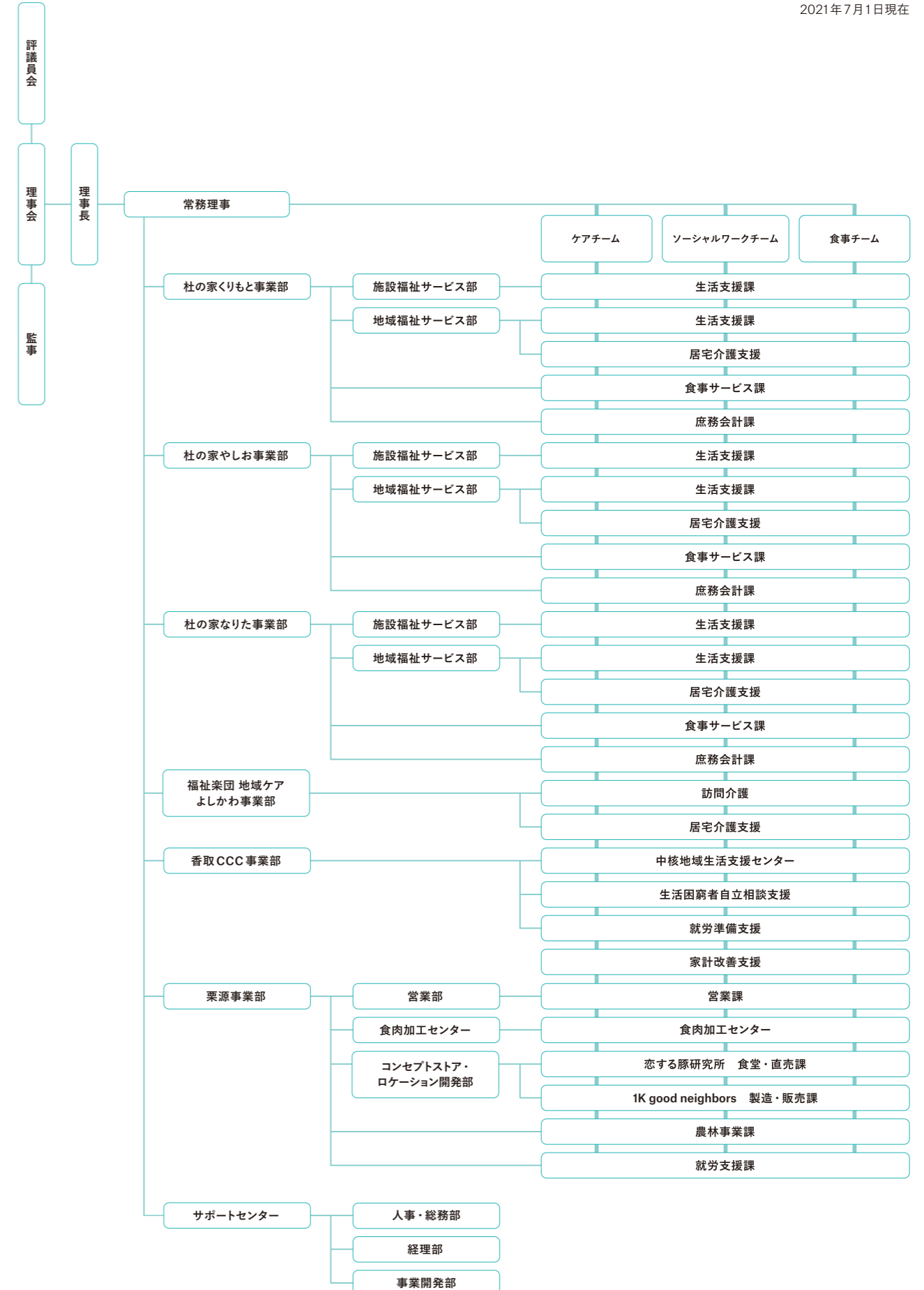
法人名称	社会福祉法人 福祉楽団 (2001年12月7日登記)		事業の種類
主たる事務所	〒261-7112 千葉県美浜区中瀬二丁目6番地1 電話：043-307-2828 ファクシミリ：043-307-4848		
理事長	飯田 大輔		
理事	安部 明子 (東京都足立区) 杜の家なりた 事業部長 飯田 大輔 (千葉県千葉市) 理事長 石間 太郎 (東京都墨田区) 杜の家やしお 事業部長 岩田 直樹 (千葉県習志野市) 人事・総務部長、経理部長 大枝 真弓 (千葉県千葉市) 常務理事 竹内 利勝 (茨城県牛久市) 常務理事 (サポートセンター長) 多田 里奈 (千葉県香取市) 杜の家くりもと 生活相談員 馬場 拓也 (神奈川県愛川町) 社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事	1. 第一種社会福祉事業 (1) 特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 (1) 老人デイサービス事業の経営 (2) 老人短期入所事業の経営 (3) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 (4) 老人居宅介護等事業の経営 (5) 障害福祉サービス事業の経営 (6) 一般相談支援事業の経営 (7) 特定相談支援事業の経営 (8) 障害児通所支援事業の経営 (9) 障害児相談支援事業の経営 (10) 社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営 3. 公益を目的とする事業 (1) 居宅介護支援事業 (2) 配食サービス事業 (3) 自家用車有償旅客運送事業 (4) 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言を行う事業 (5) 無料又は低額な料金で子どもの学習を支援する事業 (6) 企業主導型保育事業 (7) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 4. 収益事業 (1) 不動産賃貸業	
監事	大原 裕介 (北海道当別町) 社会福祉法人ゆうゆう 理事長 星川 望 (東京都練馬区) 税理士		
評議員	在田 健一 (千葉県旭市) 有限会社アリタホックサイエンス 代表取締役 伊藤 佳世子 (千葉県千葉市) 社会福祉法人りべるたす 理事長 井上 徹 (千葉県香取市) 香取市議会議員 小林 有香里 (千葉県千葉市) 千葉市ひまわり会 (里親会) 会長 こまちだ たまお (千葉県長生郡) 芸術家 篠塚 佳典 (千葉県香取市) 株式会社社芝山農園 代表取締役 竹嶋 信洋 (千葉県千葉市) 株式会社ベストサポート 代表取締役 竹蓋 伸六 (千葉県香取市) 千葉県自閉症協会 副会長 筒井 啓介 (千葉県木更津市) NPO法人コミュニティワークス 理事長 平野 昇 (千葉県旭市) 平野自動車 代表 妻鹿 ふみ子 (東京都世田谷区) 東海大学 教授		
評議員選任・解任委員	伊藤 新一郎 (北海道札幌市) 北星学園大学 教授 鶯 領太郎 (静岡県藤枝市) 静岡福祉大学 助教 林 健太郎 (東京都稲城市) 慶應義塾大学 専任講師		
法律顧問	大槻 厚志 (千葉県弁護士会・県民合同法律会計事務所)		
所轄庁	千葉県		

### 沿革

#### HISTORY

(主なもの)

2001年12月7日	社会福祉法人 豊和会 (千葉県認可) 設立
2003年3月1日	特別養護老人ホーム 杜の家 (現：杜の家くりもと) (千葉県香取市) 開設
2005年7月1日	社会福祉法人 福祉楽団に法人名称を変更
2008年4月1日	特別養護老人ホーム 杜の家やしお (埼玉県八潮市) 開設
2012年9月1日	就労継続支援A型事業所 栗源協働支援センター (千葉県香取市) 開設
2014年4月1日	福祉楽団地域ケアよしかわ (埼玉県吉川市) 開設
2016年6月1日	特別養護老人ホーム 杜の家なりた (千葉県成田市) 開設
2017年4月1日	香取CCC (千葉県香取市) 開設
2018年3月1日	栗源第一薪炭供給所 (千葉県香取市) 開設
2018年11月1日	千葉県千葉市美浜区に法人本部事務所を移転



1

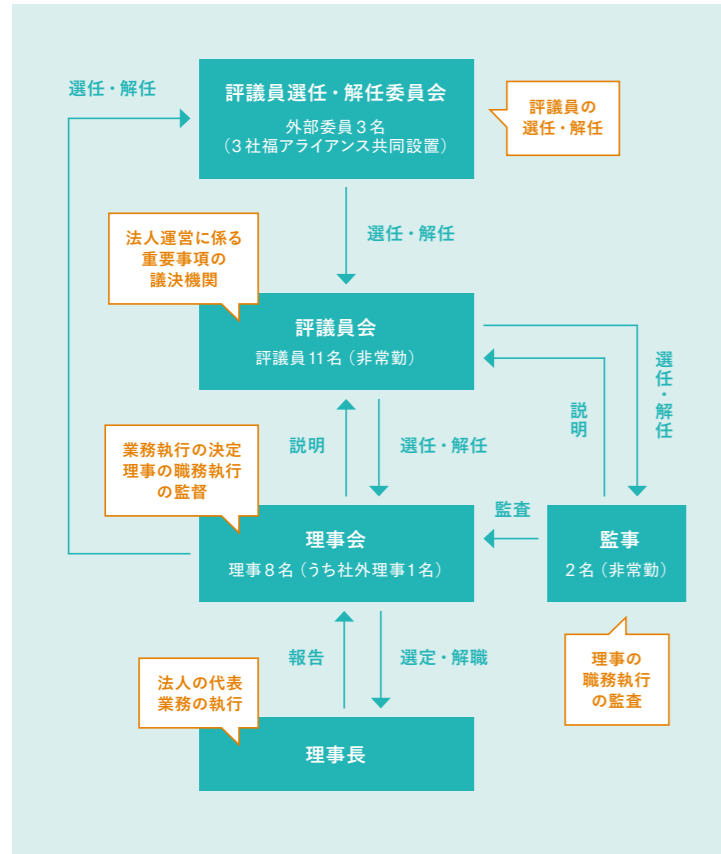
コーポレート・ガバナンスの基本的な考え

当法人は、持続的な成長と事業活動の社会的価値の向上を重要な価値としております。その実現のためには、ご利用者、取引先、地域社会、職員などと良好な関係を築くとともに、最善の福祉実践をしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

当法人の理事会は、独立性を確保できる社外理事1名と監事2名により構成されています。監事は、理事会の監督、監視機能の役割を担っています。また、当法人は、社会福祉法人愛川舜寿会（神奈川県）、社会福祉法人ゆうゆう（北海道）と「3社福アライアンス」を締結し、評議員選任・解任委員会の共同設置、役員の相互乗り入れ、経営情報の共有を行ってまいりました。これにより、客観性の高いガバナンス体制の構築のほか、質の高いサービス提供体制の実現を目指しています。

2

コーポレート・ガバナンス体制



■ 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会は、評議員の選任及び解任を審議することを目的に「外部委員が参加する機関」として設置するよう法令により定められています。当法人では、外部委員3名で構成され、独立性を確保しております。2020年度は評議員選任・解任委員会は開催しておりません。

■ 評議員会

評議員会は、「社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する者」のうちから選任することと法で定められており、当法人では11名の評議員により構成されています。評議員会は、前年度の事業報告を受けるほか、決算の承認、役員等の選任・解任、定款変更といった重要な事項について審議し、決議するといった、事後的に法人運営を監督する機関として位置付けられています。2020年度は6月の定時評議員会のほか、臨時評議員会1回の合計2回の評議員会を開催しました。

■ 理事会

理事会は、毎月1回のペースで開催し、全ての業務執行の決定や理事の職務執行の監督を行います。その他、必要に応じ臨時理事会を開催し、2020年度は計14回の理事会を開催しました。

3

役員報酬

理事および監事の報酬は、2017年3月23日の評議員会で制定した役員等報酬規程及び、2020年7月8日の定時評議員会の議決に基づき、2020年度は役員報酬等の総額5,140万円（うち役員報酬の総額は1,903万円）を支給しました。

杜の家くりもと



所在地：〒287-0102  
千葉県香取市岩部869番60  
TEL：0478-70-5665  
FAX：0478-70-5666  
実施事業：特別養護老人ホーム／ショートステイ／認知症グループホーム／デイサービス／訪問介護／居宅介護／居宅介護支援／相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／学習支援事業  
開設日：2003年3月1日

杜の家やしお



所在地：〒340-0802  
埼玉県八潮市鶴ヶ曽根567番1  
TEL：048-999-7667  
FAX：048-999-7668  
実施事業：特別養護老人ホーム／ショートステイ／訪問介護／居宅介護／居宅介護支援／相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／学習支援事業  
開設日：2008年4月1日

杜の家なりた



所在地：〒286-0005  
千葉県成田市下方686番1  
TEL：0476-20-7575  
FAX：0476-20-7878  
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／デイサービス／居宅介護支援／相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業  
開設日：2016年6月1日

福祉楽団 地域ケアよしかわ



所在地：〒342-0054  
埼玉県吉川市吉川団地1街区7号棟107  
TEL：048-984-2332  
FAX：048-984-2333  
実施事業：訪問介護／居宅介護／居宅介護支援／相談支援／みんなの食堂  
開設日：2014年4月1日

香取CCC



所在地：〒287-0002  
千葉県香取市北3丁目2番地13  
TEL：0478-50-1919  
FAX：0478-50-1414  
実施事業：千葉県中核地域生活支援センター事業／千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善支援事業／学習支援事業  
開設日：2017年4月1日

栗源協働支援センター



所在地：〒287-0105  
千葉県香取市沢2459番1  
TEL：0478-70-5234  
FAX：0478-70-5235  
実施事業：就労継続支援A型／相談支援  
開設日：2012年9月1日

栗源第一薪炭供給所



所在地：〒287-0105  
千葉県香取市沢2452番1  
TEL：0478-70-5234  
FAX：0478-70-5235  
実施事業：就労継続支援B型  
開設日：2018年3月1日

サポートセンター



所在地：〒261-7112  
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1  
WBG マリブイースト12階  
TEL：043-307-2828  
FAX：043-307-4848



# 福祉楽団 20年の歩み

# 20 YEARS

# HISTORY 2001-2021



**2001年12月**  
12月7日、「社会福祉法人豊和会」として設立（千葉県認可）。職員数34名。写真は「杜の家くりもと」の竣工式（2003年2月）で設計者を表彰する在田正則理事長と、在田恵美子施設長（いずれも当時）。



**2008年4月**  
法人最初の職員住宅「オープンセサミ（埼玉県八潮市）」設置。現在ほかに「栗源ハウス（千葉県香取市）」「ピーカブー（千葉県成田市）」がある。



**2008年4月**  
「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設。

**2005年7月**  
法人名称を「社会福祉法人福祉楽団」に変更。

**2009年8月**  
お食事配達サービス「杜ごはん」（千葉県香取市）を開始。翌年4月、お出かけ支援サービス「杜バス」（千葉県香取市）を開始。

2001



**2003年3月**  
法人最初の施設「杜の家」（千葉県香取市）開設（現「杜の家くりもと」）。特別養護老人ホームの事業からスタートした。

**2011年3月**  
東日本大震災で被災した宮城県女川町、宮城県石巻市の高齢者施設、避難所に職員を派遣。また、福島第一原子力発電所事故に伴う避難者5名を「杜の家やしお」で受け入れ。



**2012年9月**  
就労継続支援A型事業所「栗源協働支援センター」（千葉県香取市）開設。同月、建物内に恋する豚研究所のフラッグシップストア「食堂・お店」を出店。

**2009年2月**  
「特定活動（EPA）」として外国人2名が入職（「杜の家やしお」）。現在の外国人職員は法人全体で30名。

**2008年8月**  
「株式会社生活ラボ」設立。

**2012年2月**  
「株式会社恋する豚研究所」設立。



**2014年4月**  
「福祉楽団 地域ケアよしかわ」（埼玉県吉川市）開設。翌年11月、「みんなの食堂」を開始。



**2013年2月**  
海外研修でオランダへ。在宅ケア組織「ビュートゾルフ」視察など。



**2015年2月**  
ケア記録ソフト「ケアコロボ」の開発に着手。同年11月、全事業所で導入。

**2013年7月**  
「杜の家やしお」で無料学習支援サービス提供開始。



**2015年9月**  
全国20の社会福祉法人と共同で『介護男子スタディーズ』を発行。



**2017年4月**  
「香取CCC」（千葉県香取市）開設。



**2019年9-10月**  
台風15号、19号により各施設で被災（法人全体の施設・設備の被災総額1億1,614万円）。「杜の家くりもと」は地域の福祉避難所にもなった。

**2020年4月**  
「栗源第一薪炭供給所」敷地内に「1K good neighbors JAM & PASTE」のジャム小屋を設置。

**2017年3月**  
「社会福祉法人愛川舜寿会」「社会福祉法人ゆうゆう」と3社福アライアンスを締結。



**2018年11月**  
サポートセンター含む法人本部事務所を千葉県千葉市美浜区に移転。



**2020年1月**  
国内で新型コロナウイルス感染症の感染初確認。法人内ケアチームと各拠点に設置した感染対策チームを中心に感染対策を強化。

**2020年11月**  
社会福祉法人7法人で経営連携協定「社会福祉法人コレクティブ（SFC7）」を締結。

2021



**2016年6月**  
「杜の家なりた」（千葉県成田市）開設。



**2016年4月**  
熊本地震で被災した益城町の高齢者施設に職員を派遣。



**2018年3月**  
「栗源第一薪炭供給所」（千葉県香取市）開設。翌月、敷地内にスイーツポテト専門店「1K sweet potato」（現「1K good neighbors POTATO & CAFE」）を併設。

**2015年11月**  
「株式会社ケアコロボ」設立。

**2018年9月**  
「株式会社香取農業耕社」設立。



**2020年2月**  
「イワベの保育所」（千葉県香取市）開設。法人として3事業所目の保育所。



**2020年6月**  
下北沢に「恋する豚研究所 コロケカフェ」（東京都世田谷区）出店。

## コーポレートロゴの変遷



制度の「スキマ」をフォローする  
福祉実践を育てる基金です。  
ご支援をよろしくお願いたします。

2021年5月より  
**税額控除対象法人** となりました。  
当法人への寄付については、税額控除を受けられます。

▶福祉楽団サポーターズになる

1口  
年**3千円**  
ご寄付

介護現場の負担を軽減する福祉用具、介護ロボットの購入、職員を感染症から守る防護具等の購入、ケア実践を高めていくための研修や調査研究の実施などを行います。当法人の現場の職員をサポートし、福祉実践を育てていくためのメンバーシップ制度です。サポーターの方には、年4回発行の広報誌「GAKUNAVI」や、年1回発行のアンニュアルレポートをお届けします。

発熱し自宅療養している職員に「食料品セット」を頒布しました

介護職員は、クラスター発生防止の観点から厳しい健康管理と、体調不良があった場合は一定期間の出勤制限が求められています。自宅療養する職員を励まし、栄養面でのサポートをすることを目的に、「発熱サバイバル7日間食料品セット」を届けました。



栄養バランスを考慮して7日分セットした

災害時も継続して介護ができるように備蓄品を増やしました

2020年度は、冬季災害に備えるための石油ストーブや、水害対策用のライフジャケットの整備を行いました。また、食料品や、おしり拭きの濡れタオルなどは、定期的に入れ替えを行っています。



浸水想定施設にはライフジャケットを備蓄した

職員に家庭で使用する消毒用アルコールを頒布しました

介護職員が家庭で使用するための消毒用アルコールや、使い捨てマスクの頒布を行いました。購入に困難な時期もあったため、職員の家庭での感染症対策を支援しました。また、訪問介護職員のための感染対策リュックサックの開発を行いました。



訪問介護用の感染症対策リュックサックを開発 酒造会社から購入したアルコールを職員に配布

コロナ禍で広がる貧困等の相談支援体制を拡充しました

すべての事業所で、コロナ禍による社会情勢の変化に伴う生活相談を受けられるようにしたほか、相談員を1名増員して対応しています。各種給付金や支援金の手続きの支援や、就労支援、住居の確保の相談が多くなっています。



相談は直接来訪や電話がほとんど

職員の身体的負担を軽減するための介護機器を導入しました

介護時の身体的負担を軽減するために、2020年度は、パワーアシストスーツ2台の試験導入、浴室内のシャワーチェア3台、介護操作がしやすい車いす30台を導入しました。



背中から腰に装着して使うパワーアシストスーツ

2020年度 **5,884,877円** こうして使われました!

♥2020年度「スキマ基金」にご支援ありがとうございました

アーク日本株式会社/有限会社アトリエ・ワン/石井工業株式会社/伊藤製作所/株式会社海老正 さいたま営業所/株式会社すずみファーズ/株式会社テクノプランニング/NPO法人つながるネットワーク八潮/株式会社富野工務店/有限会社西商店/社会福祉法人 佛子園/株式会社ブルードキュメンタリー/株式会社ベストサポート/Prostyle株式会社/一般社団法人吉川松伏医師会/山口農場/伊藤伸博/奥住テイ子/岡部拓哉/加藤富士/角田弘明/岩野道生/岩澤由美子/金井一薫/金井 悟/窪木愛子/原元利成/古川宗宏/戸村高三/向後保雄/高橋 龍/高須久美/今井靖子/今井隆夫/佐々木久子/佐藤義勝/佐藤正躬/榎原善男/山田芳江/山本六子/七海八重子/秋本可愛/勝畑元宏/小倉高之/小倉野礼子/松石武司/照井米花/星野真吾/清宮敏雄/西川雅浩/齊藤信行/石井佳代子/石井秀則/石井勝彦/石井茂美/石原康代/川崎ひろ子/曾田 進/相良真弓/相良文雄/村嶋照等/多田嘉子/大橋 増/大枝安泰/大野裕佳/大野雄一郎/大野隆志/大野和雄/大矢恵子/大崎富造/沢田紀子/竹藪伸六/長 久美子/長橋典子/塚田慶博/田村真紀子/田中耕太/渡邊圭子/島村たか子/藤波光子/藤崎 仁/内山雅之/内田 希/甘楽真紀子/馬上丈司/橋 政美/飯田侃市郎/飯田麻里子/富野次夫/富野祐子/伏見広一/服部和野/平磯詩恵/平野まき子/平野 昇/北尾義昭/本宮勝久/本田真男/矢野美代子/林 賢一/鈴木通文/一枝/澁谷智子/濱名英倫/鶴 領太郎/齊藤 均(順不同、敬称略。お名前非公表304名)



あきもと かあ  
秋本可愛さま  
株式会社Blanket 代表取締役

常に現状のあり方を問い、既存の枠組みに捉われず、柔軟にスピード感を持って取り組まれている福祉実践の数々に、皆さんの気づきと学びをもらっています。貢献というより、福祉楽団の実践や思想に触れ、学ばせてもらいたいと思いつけていただきました。この取り組みが全国に広がるとともに、支援を必要とする人の希望となるよう心から応援しています!

▶プロジェクトをサポートする

1 ごはんプロジェクト

例  
5千円  
ご寄付  
30人分のごはんを  
用意することができます



ひとりでご飯を食べている子どもや、お年寄り、相談相手がいなくて困っている「ひとり親」や移住してきた外国人の人、そうした人たちとごはんを一緒に食べる活動を行っています。

2020年度 **791,833円** こうして使われました!



「みんなの食堂」(埼玉県吉川市)では、新型コロナウイルス感染症の蔓延を受けて、毎週150食のお弁当を配布して対応しました。社会的なつながりが希薄になってしまうことを懸念して、地域の感染状況をみながら食堂を再開させています。「福祉楽団 地域ケアよしかわ」と「香取CCC」(千葉県香取市)では生活困窮家庭などに食料品を届ける活動を行っています。

2 森ではたらくプロジェクト

例  
1万円  
ご寄付  
パワーショベルを  
1日 借りられます



手入れがされていない森に入り、間伐や下草刈りなどをして森林の環境を保全し、健康な森づくりのための活動をしています。また、その活動を障害のある人のはたらく場にしていきます。森林の作業が安全にできるような道具やマニュアルの整備を行います。

2020年度 **29,000円** こうして使われました!



千葉県香取市栗源地区の森林所有者とともに、「香取市持続可能な森づくり協議会」を立ち上げ、森林の保全活動を行っています。こうした活動に、障害のある人が、延べ8人がかわり仕事として従事することができました。放置されていた森林から仕事生まれ、地域の活性化を図ります。

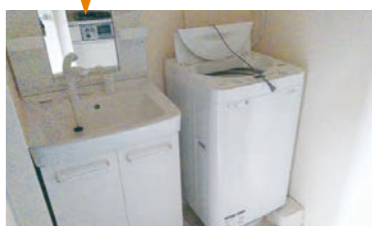
3 少年院から地域にかえるプロジェクト

例  
10万円  
ご寄付  
ひとり暮らしに必要な  
生活家電 を用意  
することができます



少年院に入っている子どもの約8割が中学卒業または高校中退となっており、3割以上が虐待を受けた経験があります。少年院を出たあと親元などの帰る場所のない子どもも多く、再犯しないためには住まいと仕事と生活相談が欠かせません。

2020年度 **72,083円** こうして使われました!



障害のある20代の若者の出所支援を行い雇いしました。スキマ基金を活用して、出所時の衣類と、出所後の住宅で使用可能な生活家電を購入しました。また、福祉楽団のソーシャルワーカーが、市役所での行政手続きや、生活全般の支援を行っています。

▶児童福祉施設の創設をサポートする

2020年度積立額 **109,834円**

1口  
年**3万円**  
ご寄付

福祉楽団では、児童自立援助ホームなど、子どもの「育つ」をささげる施設を2024年までに創設できるように計画しています。家庭的な環境の施設をつくりたいと考えています。児童福祉施設を出たあとも、いつでも帰ってこられるような場所を目指し、大人になってからも、暮らしやお金、恋愛、仕事の相談ができる仕組みをつくりたい。このような仕組みをつくらうとすると公的な制度だけでは十分ではなく、皆様からの支援が必要になります。



まがみ たけし  
馬上丈司さま  
千葉エコ・エネルギー株式会社 代表取締役

私は千葉大学で公共政策を学び、千葉県を中心に事業を行っています。地域の課題を解決し、より良い社会を次の世代に残したいと考えて活動するなかで福祉楽団の取り組みに触れ、「スキマ基金」の存在を知って少しでも何かお手伝いできればと考え、サポートを続けていただいています。社会の中にある「スキマ」が少しでも埋められるように、これからも活動を広げていってください。



わたなべ けいこ  
渡邊圭子さま  
「社の家なりた」入居者ご家族

親子関係の乱れから、一般的な家庭生活を送れない子どもたちが犯罪を犯すのを目の当たりにしました。これから長い人生を歩んでいく子どもたちが、一回の挫折で人生に悲観的にならず前向きに生きてゆけるよう、その一助にしたいと願っています。

## ▶ スキマ基金 | ご寄付の方法

### クレジットカードで



福祉楽団「スキマ基金」専用のWebサイトから、クレジットカードですぐに手続きできます。

<https://bit.ly/2YMMGDk> ▶



### 郵便局で



この冊子に同封の払込取扱票をお使いください。別途、払込取扱票をご希望される場合は、福祉楽団サポートセンターへご連絡ください。

### 銀行で



下記の口座でお受けしています。領収書をご希望される場合は、福祉楽団サポートセンターまでメールでご連絡ください。

佐原信用金庫 本店  
普通 0589540  
社会福祉法人福祉楽団  
フク) フクシガクダン

### 遺産・不動産



土地や物品によるご支援をいただける場合は、福祉楽団サポートセンターまでお気軽にご相談ください。

寄付の手続きや税制優遇制度についてはお気軽にご連絡ください。  
社会福祉法人福祉楽団サポートセンター 岩田(いわた)・篠塚(しのつか)

電話 043-307-2828  
メール [sukima@gakudan.org](mailto:sukima@gakudan.org)

## ▶ ご寄付いただいた方へ

### ● 恋する豚研究所のハムとベーコンとソーセージのセットを贈ります

10,000円以上ご寄付いただいた方に、返礼品として、恋する豚研究所の美味しいハムとベーコンとソーセージのセットを進呈します。



### ● 税制上の優遇措置があります

2021年5月より税額控除法人対象となりました。当法人への寄付については、税額控除または寄附金控除を受けることができます。

#### 個人の場合

寄附金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます。

#### 法人の場合

一般の寄附金控除とは別枠で、法人税法上の損益算入ができます。